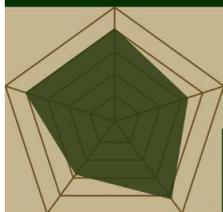


最短最速ムダなく学ぶ

ゼロから始める

日経225 オプションの 教科書

井上 隆



日本一わかりやすい
オプションの入門書



目次

- ◎はじめに
- ◎私が日経 225 オプションに注目した理由
- ◎日経 225 オプションとは？
- ◎プット・オプションとは？
- ◎権利行使価格とは？
- ◎SQ とは？
- ◎タイムディケイとは？
- ◎プレミアムとは？
- ◎日経平均とプレミアムの値動きの関連性について
- ◎相場暴落時のプレミアムと損失の変動イメージ
- ◎限月とは？

◎ATM、ITM、OTM とは？

◎プット・オプションの損益計算方法

◎SQ 前にプット買いを返済するときの損益の計算方法とは？

◎SQ 前にプット売りを返済したときの損益の計算方法とは？

◎SQ にプット買いを自動清算する場合の損益の計算方法は？

◎SQ にプット売りを自動清算する場合の損益の計算方法は？

◎口座開設について

◎日経 225 オプションの取引時間

◎エントリーのタイミングについて

◎証拠金とは？

◎証拠金シミュレーターの使い方

◎追証とは？

◎追証を回避するには？

◎指値と成行注文の違い

◎発注と約定の違い

◎オプション取引で 2000 円の利益を作る方法

◎おわりに

◎ここまでお読みいただいた皆様にお問い合わせ

お知らせ

はじめに



この度は数ある書籍の中から本書をお選びいただき、本当にありがとうございます。

私は、ネコと投資をこよなく愛する資産運用アドバイザーの井上隆と申します。

簡単に自己紹介させていただくと、元大手証券会社勤務/投資歴：約 20 年/資産額：ヒミツ/投資経験：100 種類以上/投資ブログ：1 日 3000 人訪問/最大損失：約 4000 万・・・といった経歴の持ち主です。

保有資格としては、FP1 級、AFP、プライマリープライベートバンカー、宅地建物取引士、競売不動産取扱主任者、MBA など、資産運用を語る上で、ベースとなる知識を身につけています。

これまでに株、FX、投資信託、不動産、先物、日経 225 オプション、CFD、債券、自動売買、仮

想通貨、Defi、クラファン、競売不動産、私募ファンド、野球グッズ、軽油卸、チャリティウォーター、リバーシブルジーンズ、海外アーティストなど、大小合わせて100以上の案件に投資をしてきました。

そして、数多くの成功と失敗を繰り返す中で、私は最終的に次の2つの結論に行き着きました。

・他人任せにして大損するくらいなら、自分の手で全部やったほうがいい。結局、最後に信じられるのは自分の判断と経験である。

・相場頼みの投資では、いくら資産が増えたとしても、心の安定は得られない。将来の利益が見通せる投資こそが真の安心感をもたらしてくれる。

投資歴が長い人であれば、この考えに共感いただけの方も多いのではないのでしょうか。

本書でご紹介するのは、そんな私が数多くの失敗と試行錯誤の末にたどり着いた、日経 225 オプションという商品の話です。

日経 225 オプションを自分の武器にできれば、運用を誰か他の人に任せずとも、年 10%程度の利回りであれば、十分運用が可能です。

ただ、1つ問題点として、日経 225 オプションは、株や投資信託と根本的に仕組みが異なるため、本を何冊読んでも、なかなか仕組みが理解できないという声をよくいただきます。

そこで、「もし私が一から日経 225 オプションを学ぶのであれば、こう教えてほしかった」と

いう私の経験をもとに、オプション初学者の方が最短・最速で、無駄な勉強をせずに、オプション取引が始められるように、オプションの基礎知識から取引方法までを一冊にまとめました。

「最短最速でオプションを学びたい！」という人は、どうぞ楽しみながら本書をお読みいただき、あなたの投資ライフに新しいヒントを見つけていただければと思います。

公式 LINE のご紹介

実際に日経 225 オプションの勉強を始めると、言葉の意味が理解できなかったり、取引の仕方がわからなかったり、色々とつまづくポイントが出てきます。

公式 LINE では、そんなオプション初学者がつまづくポイントを突破するためのコツを定期的に情報発信しています。

また、毎月のトレード実績紹介や、オプションの勉強会、ゼロからオプションを身につけた投資家の声も多数紹介していますので、本書を読んで、日経 225 オプションに興味を持ったという方は、登録をしておいて損はないと思います。

無料で登録できますので、以下のリンクから登録を試してみてください。

<https://lin.ee/1mdAnKr>

私が日経225オプションを おすすめする理由



まず、はじめに「高配当株より少し高い利回りで、なおかつ、安定感もある投資」として、私がなぜ日経 225 オプションをおすすめするのか、その理由をお話しします。

(1) 勝率が高い

日経 225 オプションは、株式のように「ただ買って売る」だけの取引ではなく、非常に多彩な売買戦略が存在します。

その中で、私が実践している戦略のひとつは、勝率が 9 割という、他の投資ではなかなか実現が難しい高勝率の手法です。

「勝率 9 割」と聞くと、怪しいと感じる方も多いかもしれません。

ですが、これは特別な才能や運に頼ったものではありません。

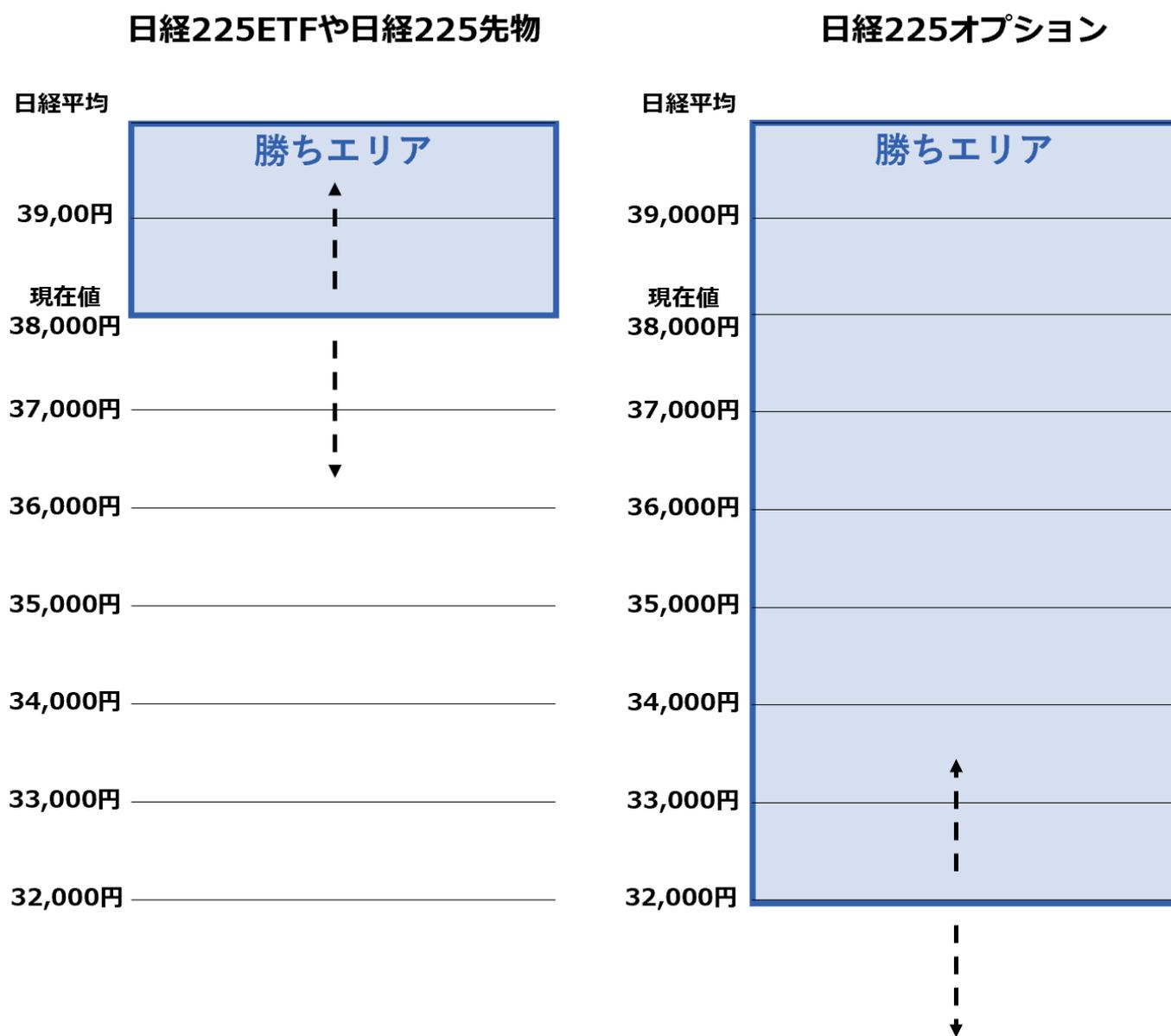
オプション取引の仕組みを正しく理解し、戦略的に活用することで、十分に達成可能な数字なのです。

なぜ、それほど高い勝率可以实现できるのか。

その理由は、オプション取引では「利益が出る範囲」が広いからです。

次の図をご覧ください。

左側は、日経平均株価 (ETF 等) を購入した場合の損益図です。利益が出るエリアを勝ちエリアとして表示しています。



例えば、日経平均が 38,000 円のとときに買った場合、そこから上がれば利益、下がれば損失にな

ります。これは投資をしている人からすると当たり前前の話ですね。

一方、日経 225 オプションの場合はどうでしょうか？

たとえば、現在の株価が 38,000 円のときにオプションを保有したとします。

このとき、日経平均が値上がりすれば利益が出るのは当然ですが、それだけではありません。

ここからがオプション取引ならではの大きな特徴です。

日経 225 オプションを活用すれば、たとえ日経平均が 32,000 円近辺まで下落したとしても、利益を出すことができるのです。

このように、日経平均が「上がっても」「横ばいでも」「下がっても」利益を狙えるため、日経 225 オプションは非常に高い勝率を実現することが可能になります。

(2) 毎月、配当金のような形で利益を受け取ることができる。

日経 225 オプションは、仕組み上、毎月第 2 金曜日にすべての保有ポジションが自動的に清算されます。

つまり、この清算のタイミングで利益が出ていれば口座の資金が増え、損失が出ていれば口座の資金が減る、ということです。

ここで、先ほどの①の話を思い出してください。

私が、よく使う戦略では「勝率 9 割」を狙えるとお伝えしました。

ということは、1 年に 12 回ある清算のタイミングのうち、10~11 回は利益を受け取れる可能性

があるということです。（相場の状況によっては、12回すべて利益という年もありました。）

だからこそ、日経 225 オプションを使えば、高配当株の配当金や、不動産の家賃収入のような“毎月安定した収入”を作る仕組みを再現できるのです。

(3) 横這い相場、下落相場でも利益を狙える。

株式投資は、信用取引を使わない限り、基本的に「上昇相場」でしか利益を出すことができません。

しかし、日経 225 オプションであれば、「上昇相場」「下落相場」「横ばい相場」のいずれでも、利益を狙う方法があります。

そのため、相場全体が下落していて、自分が保有している株や投資信託の評価額が大きく目減りしている局面でも、日経 225 オプションでは、逆に利益を出すことが可能です。

自分の資産が毎月減っていくような厳しい相場の中でも、コツコツと利益を積み上げてくれる投資手法があるというのは、想像以上に大きな安心感をもたらしてくれます。

	株式投資	オプション
上昇相場	○	○
横ばい相場	×	○
下落相場	△	○

(4) 日々割かなければいけない時間が圧倒的に少ない。

下の表は、株式投資と日経 225 オプション取引において、実際にやらなければならないことを比較したものです。

	株式投資	オプション
銘柄選定	3800超の銘柄から独自の基準で選定	選定の必要なし
ファンダメンタルズ分析	銘柄ごとに必要	必要なし
テクニカル分析	○	○
情報収集 (日経平均関連)	○	○
情報収集 (個別銘柄関連)	銘柄ごとに決算資料やIR情報の収集が必要	必要なし

株式投資の場合、本気で取り組もうとすると、約 3,800 以上ある銘柄の中から候補を絞り込む必要があります。

そのうえで、テクニカル分析やファンダメンタルズ分析を行い、さらに投資対象を厳選していく作業が必要です。

つまり、情報収集と分析にかなりの時間と労力をかける必要があります。

一方で、日経 225 オプションの場合は、こうした個別銘柄の分析は必要ありません。

必要なのは「日経平均」に関する情報だけです。

そのため、1日数分のチェックと簡単な作業だけで、取引が完結します。

この4つの理由が、私が日経225オプションをおすすめする大きな理由です。

高配当株や不動産以外にも、毎月安定して入ってくる投資収入を作りたいと考えている方には、まさに最適な選択肢です。

それでは、次章からいよいよ日経225オプションについて詳しく中身を見ていきましょう。

日経225オプションとは



日経 225 オプションは、証券会社のホームページの説明を引用すると、「あらかじめ定められた期日（満期日）にあらかじめ定められた価格（権利行使価格）で日経平均を買う、または売る権利を売買する取引」です。

そして、日経平均を買う権利のことを「コール・オプション」、日経平均を売る権利のことを「プット・オプション」と呼びます。

日経 225 オプションでは、大きく分けて 4 つのポジションの取り方があります。

	買い	売り
コール・オプション	コール買い	コール売り
プット・オプション	プット買い	プット売り

一般的なオプションの解説書では、こうした分類から順番に説明が始まります。

ですが、、、いかがでしょうか？

「なんだか難しそう・・・」「もう心が折れそう・・・」と感じた方も多いのではないのでしょうか。

正直に言えば、私自身も最初はまったく同じところでつまずき、何度も挫折しそうになりました。

ですが、どうか安心してください。

本書では、「私がもしゼロからオプションを勉強するなら、こう教えてほしかった」という視点で、内容を大幅に構成し直しています。

そして、最初からすべてを網羅しようとする
と、途中で混乱してしまうので、本書では、あ
えて「プット・オプションの買い」と「プッ
ト・オプションの売り」に絞って、解説してい
きます。

経験上、この2つさえ理解できれば、「コー
ル・オプションの買い」と「コール・オプショ
ンの売り」の仕組みも自然と理解できるよう
なるからです。

ですので、まず、プット・オプションをしっか
りと理解することを目指しましょう。

プット・オプションとは



プット・オプションとは、難しい言葉で説明すると、「日経平均を将来のある期日までに、その時の市場価格に関係なく、あらかじめ決められた特定の価格（＝権利行使価格）で売ることができる権利」のことです。

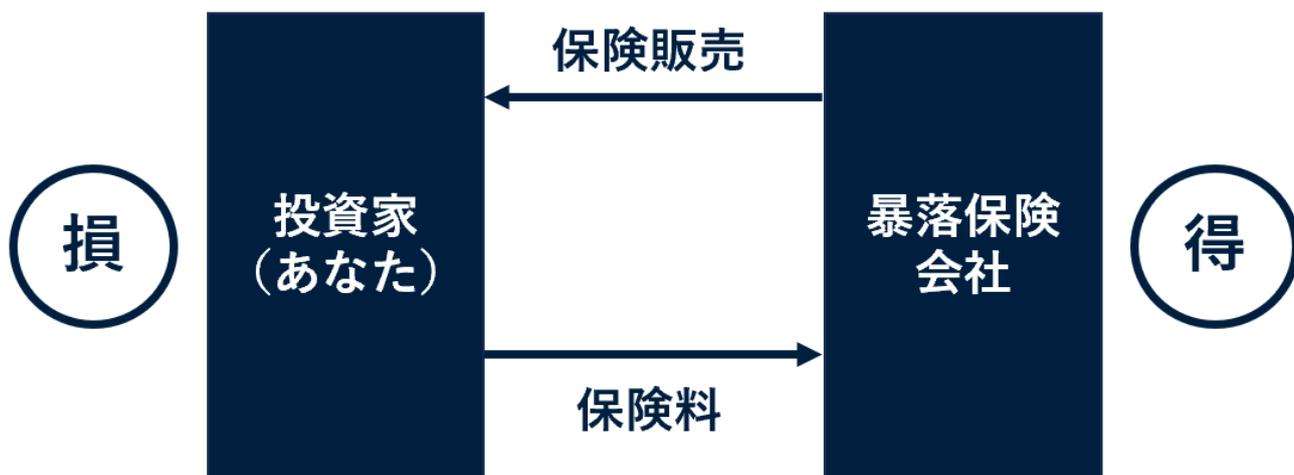
ただし、これを簡単な言葉に言い換えると、
「プット・オプションとは、日経平均が暴落を起こした時に保険金が受け取れる日経平均の暴落保険」と言えます。

この暴落保険を購入した場合（プット・オプションの買い）、あなたは「保険料」を支払うことで、万が一、日経平均が暴落したときに、まとまった「保険金（利益）」を受け取ることができます。

このときのお金の流れを、わかりやすく整理すると、次のようになります。

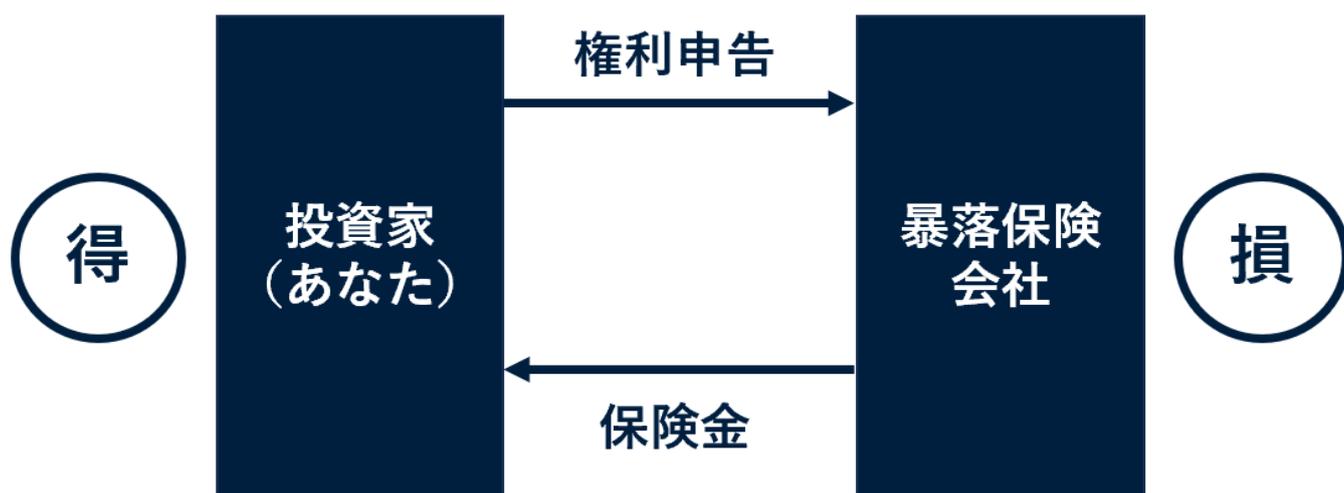
■相場が平穏なとき

保険会社への保険料の支払いが発生するが、保険金の受け取りは発生しないため、保険料分の損失が出る。



■相場が暴落したとき

保険料を支払っていたことで、保険会社から大きな保険金（利益）を受け取ることができる。



つまり、あなたが保有していた株や投資信託が暴落して損失が出たとしても、その損失をこの「暴落保険」でカバーできるというわけです。
※なお、この保険は株を持っていなくても購入できます。

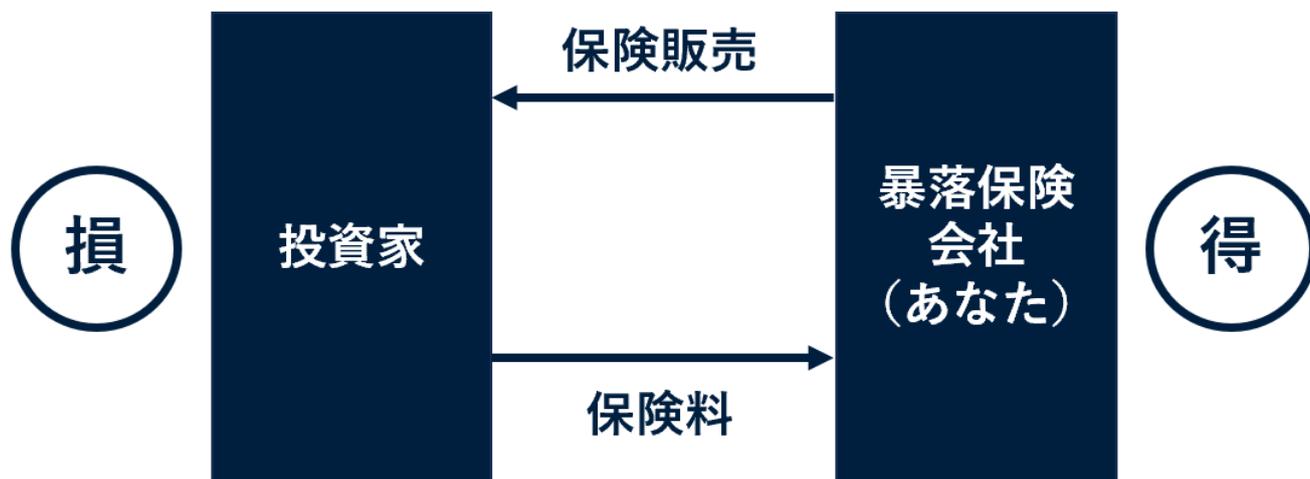
そして、このプット・オプション（暴落保険）には、もうひとつ驚くべき特徴があります。

それは、あなた自身が”保険会社のような立場”になって、プット・オプション（暴落保険）を他の投資家に販売することもできるという点です。

この場合のお金の流れも整理しておきましょう。

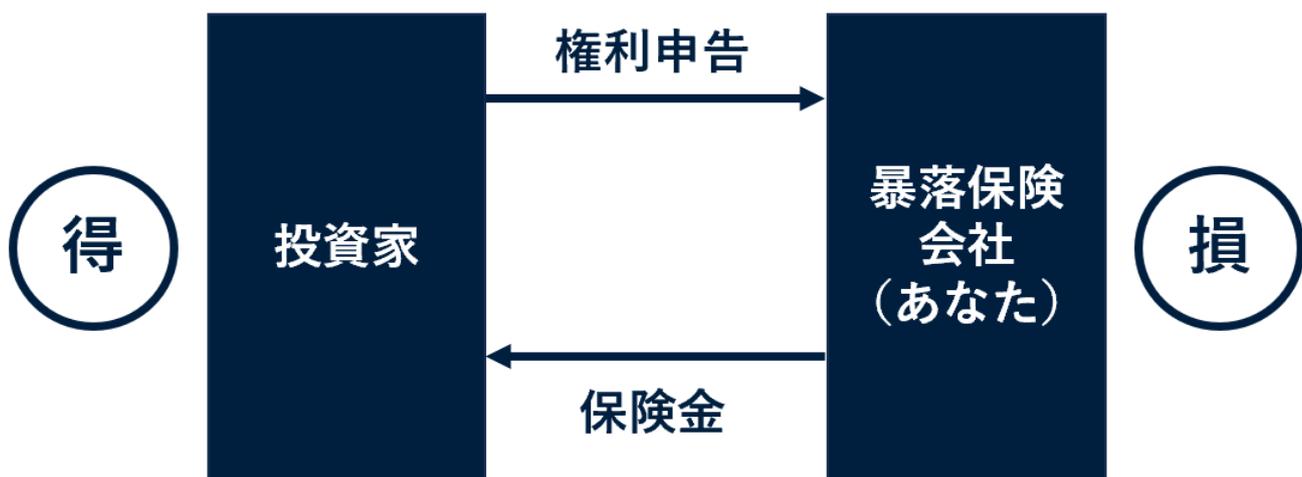
■相場が平穏なとき

保険料を受け取れる。保険金の支払いが発生しないため、受け取った保険料がまるまる利益になる



■相場が暴落したとき

受け取った保険料以上に、保険金を支払う必要がある。大きな損失になる可能性がある。



これが、プット・オプション（暴落保険）の売りです。

プット・オプションの売りでは、投資家からの保険料（プレミアム）を受け取ることができるので、相場が落ち着いていれば、保険料がまるまる利益になる一方で、万が一、大暴落が起きたときには、保険金の支払い＝損失が発生するというリスクを伴います。

プット・オプションは難しく説明すれば、「日経平均株価を、将来のある期日までに、市場価格に関係なく、あらかじめ決められた価格（＝権利行使価格）で“売る”ことができる権利」となりますが、実際にやっていることは「暴落保険の売買」であると考えれば、グッとイメージしやすくなるはずです。

ここまでの内容を、改めて簡単に整理をしておきましょう。

POINT

・ プット・オプション（暴落保険）の買いは、保険料を支払って、暴落に備える。暴落時には保険金（利益）を受け取れる。

・ プット・オプション（暴落保険）の売りは、保険料を受け取って、暴落保険を販売する。暴落時には保険金を支払う必要がある。

プット・オプションの 仕組み



ここからはさらに具体的にプット・オプション＝暴落保険の仕組みを見ていきましょう。

■プット・オプションの買い

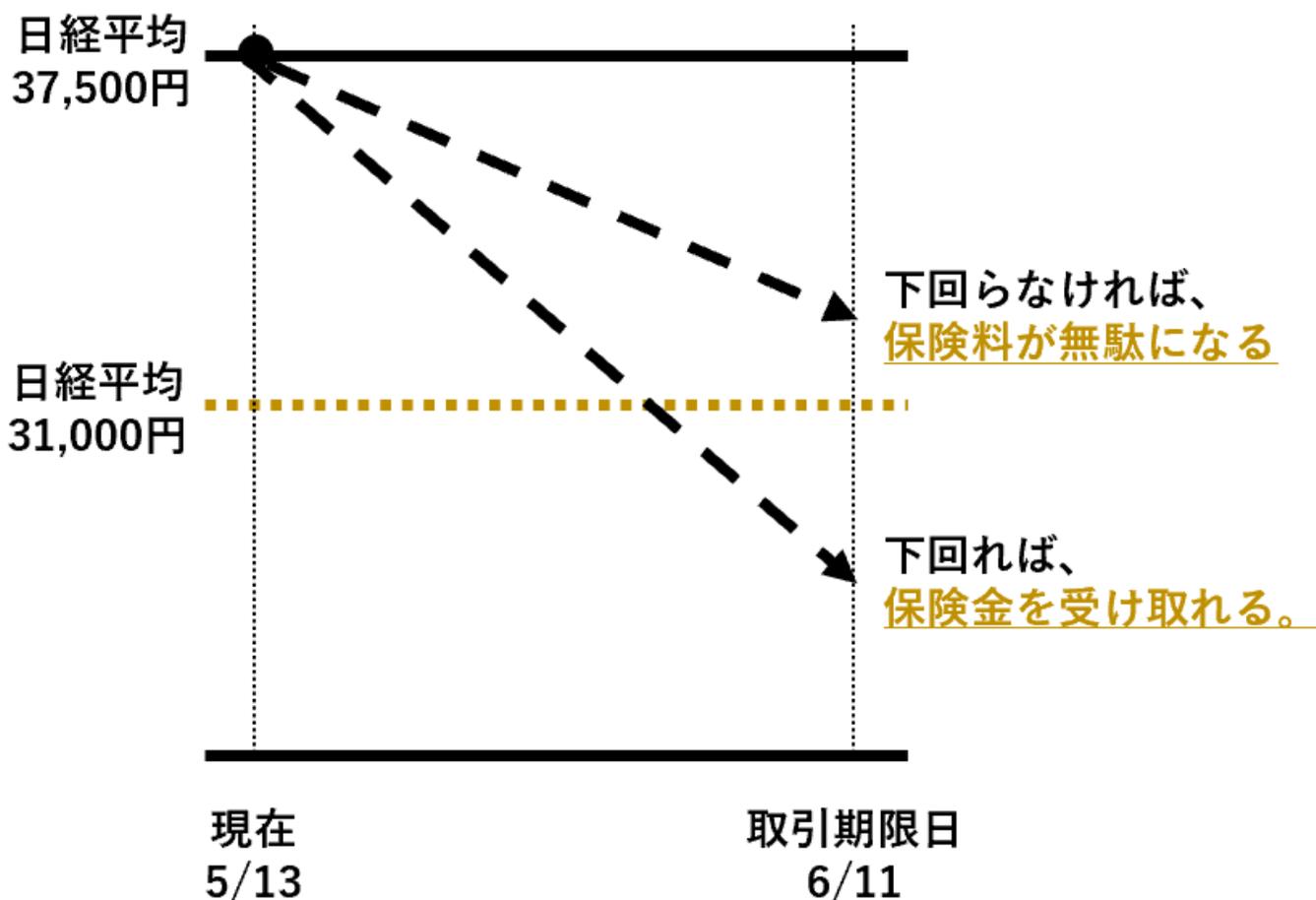
5月13日時点で日経平均株価が37500円だったとします。

あなたは「1か月後の取引期限日までに、株価が急落して、31000円を下回るような大暴落が起こるかもしれない」と不安に思っていました。

※オプションには1か月に一度、取引期限日があり、この日に保有しているオプションが自動的に清算されます。

その場合、「日経平均が31000円を下回ったら保険金を受け取れるプット・オプション」を購入することで、暴落に備えることができます。

暴落保険を購入したときの損益分岐点を簡単に図示すると次のようになります。横軸が取引期限日までの時間の流れを表し、縦軸が日経平均株価を表しています。



相場が大きく動かず、日経平均が 31,000 円を下回らなければ、支払った保険料は“掛け捨て”となり、支払った保険料分の損失が発生します。

一方、万が一、取引期限日に日経平均が 31,000
円を下回った場合、その下回った幅に応じて、
大きな保険金（利益）を受け取ることができます。
す。

取引期限日に日経平均が 31000 より上だった場合、損益曲線は横一線になっています。

※0 に見えますが、実際には支払った保険料分だけマイナスになっています。

一方、31000 円を下回ると、下回った分だけ保険金が大きくなり、利益が急激に増えていきます。

これがプット・オプション（暴落保険）を買った時の損益の特徴です。

このようにプット・オプションを買っておくことで、株価の暴落をチャンスに変えることができるのです。

■プット・オプションの売り

続いて、「プット・オプション（暴落保険）の売り」について解説します。

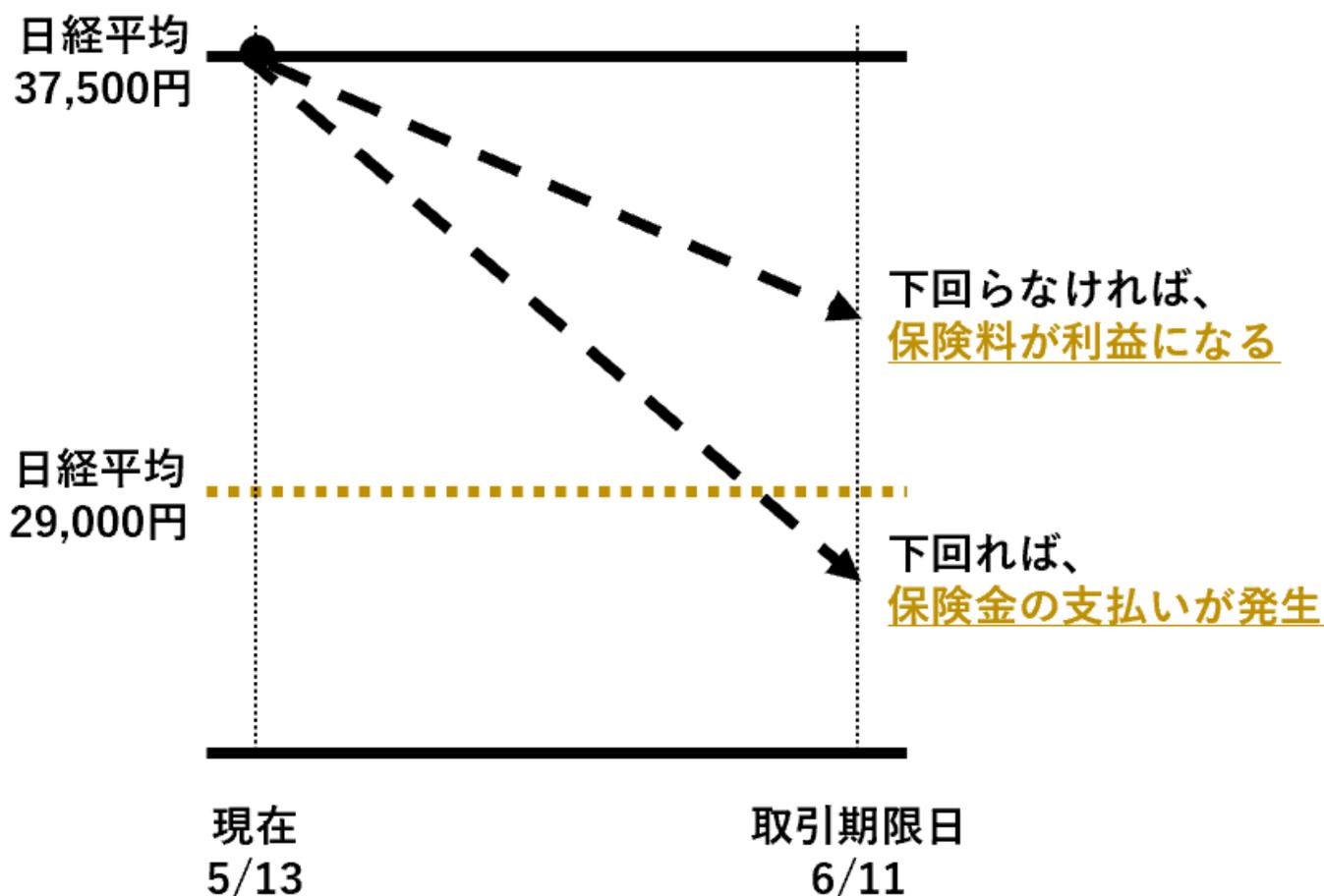
5月13日時点で、日経平均株価が37,500だったとします。

あなたは「約1か月後の取引期限日までに29,000円を下回る大暴落はさすがにこないだろう」と考えました。

その場合、「約1か月後の取引期限日までに日経平均が29000円を下回らなければ、保険料を受け取れる」プット・オプションを投資家に販売します。

※投資家側は1か月後に日経平均が29000円を下回れば、保険金を受け取れる保険を購入したということ。

その時の損益分岐点を簡単に図示すると次のようになります。横軸が取引期限日までの時間の流れを表し、縦軸が日経平均株価を表しています。



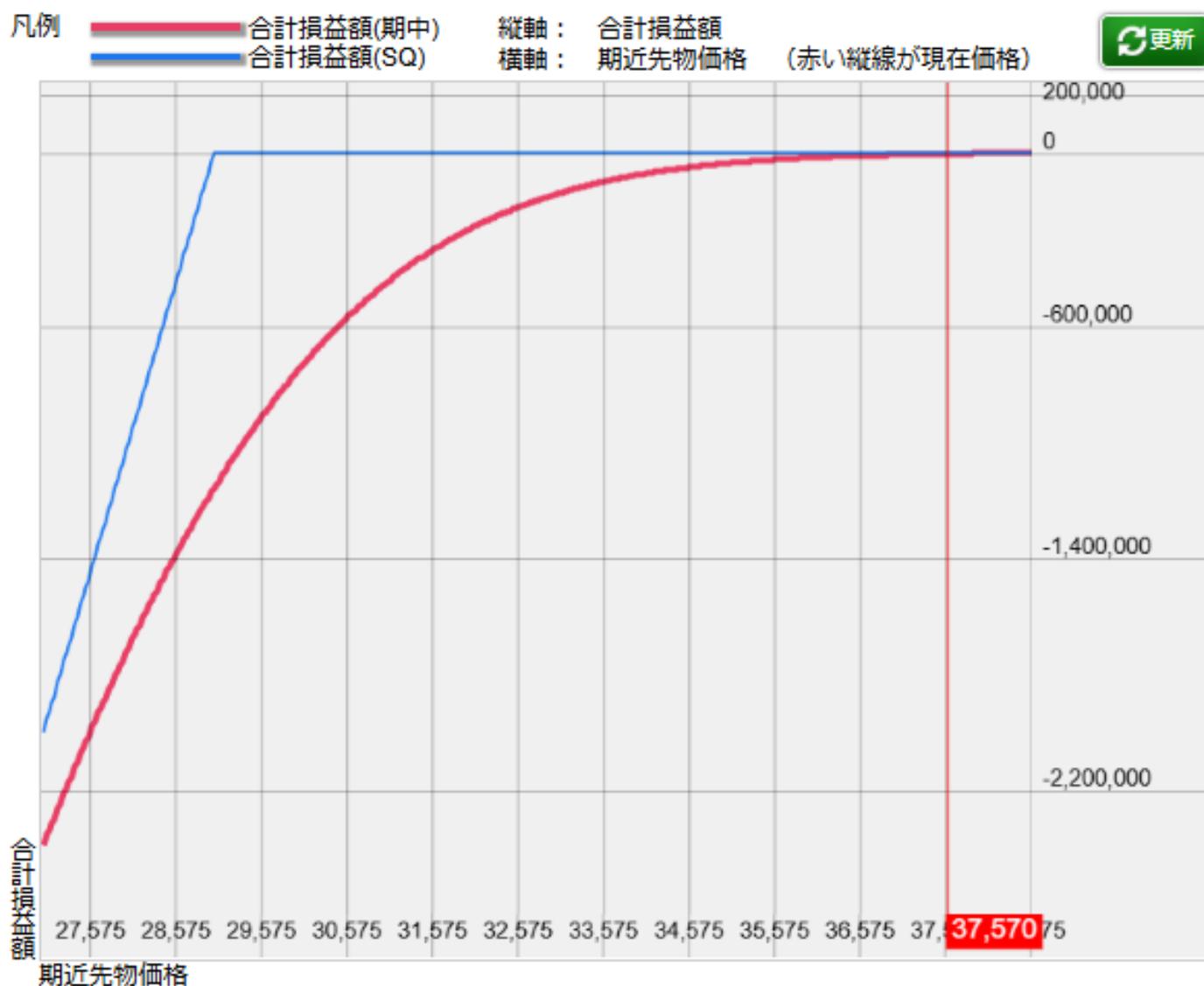
取引期限日に日経平均が 29000 円を下回らなければ、受け取った保険料がそのままあなたの利益になります。

ただし、もし大暴落が起きて、取引期限日に日経平均が 31,000 円を下回ってしまうと、あなたは保険会社の立場として、損失（保険金の支払い）が発生します。

ポイントは取引期限日に日経平均が 29000 円をどれだけ下回ったかで支払う保険金の額が変わるという点です。

少し見方を変えて、このオプションの損益図
(青線) を見てみましょう。

これは横軸が取引期限日における日経平均株価
で縦軸が損益を表しているとお考え下さい。
(現在値は赤線の 37,570 です。)



取引期限日に日経平均が 29000 より上だった場合、損益は横一線になっており、0 に見えますが、実際には受け取った保険料分がそのまま利益になることを意味しています。

一方、29000 円を下回ると、下回った度合いに応じて、支払う保険金の額が急激に増えていきます。

オプションの売りは、コツコツ保険料分の利益を積み上げられますが、万が一、権利行使価格を下回るような大暴落が来ると、大損することになるため、実際に投資をする際には注意が必要です。

ここまででプット・オプション（暴落保険）の仕組みの解説は終了です。

このプット・オプションの買いと売りを組み合わせて利益を作っていくのがオプション取引になります。

続いて、オプションを取引する上で、必ず覚える必要のある用語について解説します。

権利行使価格とは



権利行使価格（ストライクプライス）は、プット・オプションの買いで言えば、保険金を受け取れるかどうかの分岐点となる日経平均株価の価格であり、プット・オプションの売りで言えば、保険金を支払う必要があるかどうかの分岐点となる価格です。

前章の「プット・オプションの仕組み」でも解説しましたが、あなたが日経 225 オプションを実際取引する際には、最初に「どの権利行使価格のオプションを売買するか」を決める必要があります。

下の図は、松井証券のオプション一覧ページですが、「行使価格」と書かれている部分がその「権利行使価格」です。

コールオプション					中心値	プットオプション				
注文	出来高	IV	前日比	現在値	行使価格	現在値	前日比	IV	出来高	注文
新規	40	24.66	-2	70	38,875	-	-	27.22		新規
新規	92	23.64	-3	87	38,750	-	-	25.71		新規
新規	15	23.28	-5	115	38,625	-	-	25.35		新規
新規	112	24.81	0	170	38,500	450	+15	27.17	7	新規
新規	15	24.95	+15	220	38,375	-	-	24.95		新規
新規	44	25.19	0	280	38,250	295	-10	26.08	37	新規
新規		25.09	-	-	38,125	235	-20	26.00	16	新規
新規	27	26.53	+30	435	38,000	190	-10	26.53	96	新規
新規	1	26.32	+35	515	37,875	155	-20	27.33	7	新規
新規	2	22.23	-40	570	37,750	135	+5	29.09	32	新規
新規		28.64	-	-	37,625	105	-10	29.24	4	新規
新規	7	23.23	-15	785	37,500	89	0	30.26	673	新規

現在の日経平均（38,000円）に近い価格帯では、権利行使価格は125円刻みで設定されていますが、日経平均から離れていくと、250円刻み、500円刻みと刻み隔が広がっていきます。

コールオプション					中心値	プットオプション				
注文	出来高	IV	前日比	現在値	行使価格	現在値	前日比	IV	出来高	注文
新規		0.00	-	-	29,625	-	-	122.31		新規
新規		0.00	-	-	29,500	1	0	116.72	1	新規
新規		0.00	-	-	29,375	-	-	126.03		新規
新規		0.00	-	-	29,250	-	-	127.91		新規
新規		0.00	-	-	29,125	-	-	129.78		新規
新規		0.00	-	-	29,000	-	-	131.67		新規
新規		0.00	-	-	28,750	-	-	135.45		新規
新規		0.00	-	-	28,500	-	-	139.27		新規
新規		0.00	-	-	28,250	-	-	143.11		新規
新規		0.00	-	-	28,000	1	0	138.35	2	新規
新規		0.00	-	-	27,750	-	-	150.88		新規
新規		0.00	-	-	27,500	-	-	154.81		新規

プット・オプションは「P28000」や「P27500」のように頭文字にPを付けて、権利行使価格をその後ろに記載します。

コール・オプションの権利行使価格はC30000やC30500といった表示をします。

権利行使価格は 125 円刻みで用意されていますが、出来高（取引量）を見ると、「P27000」や「C28500」など、キリの良い価格の方が活発に取引されています。

これは、コール・オプションでもプット・オプションでも共通しており、

(1) 1000 円刻み（例：P26000）

(2) 500 円刻み（例：C26500）

(3) 250 円刻み（例：C25250）

(4) 125 円刻み（例：C25375）

の順で、出来高が多くなる傾向があります。

出来高が少ないということは、取引相手が少なくなるということでもあり、その分、注文が成立しにくくなります。

その結果、注文が約定するまでに時間がかかったり、指値注文や逆指値注文が想定通りの価格で約定しなかったりすることがあります。

そのため、初めのうちは「キリの良い数字の権利行使価格」で取引することをおすすめします。

SQとは



SQ (Special Quotation) とは、特別清算指数の略で、日経 225 オプションを満期日に清算するための特別な「価格」を指します。

ただし、一般的にはこの SQ=満期日（最終清算日）のことを指しており、毎月第 2 金曜日に設定されています（※祝日の場合は前日の木曜日）。

※SQ は「プット・オプションの仕組み」の章で解説した取引期限日のことです。

SQ の日程や、取引最終日を調べたい場合は、インターネットで「日経 225 オプション SQ」や「取引最終日」などのキーワードで検索すれば、証券会社のホームページなどで簡単に確認できます。

そして、実際に清算時に使われる「SQ 値」は、オプションの権利行使価格を超えたかどうかを判定する基準となる価格です。

SQ 値は、通常、SQ 当日の金曜日の朝 9 時頃に決定されます。

ただし、この価格は日経平均株価の始値ではなく、「日経平均を構成する 225 銘柄それぞれの始値」をもとに算出されます。

そのため、一部の銘柄が寄り付かない場合、9 時時点で SQ 値が確定しないこともあります。

算出方法の違い

日経平均株価 の始値

9時0分15秒の時点で、日経225構成銘柄の始値をもとに算出するが、すべての銘柄がこの時点までに寄り付くとは限らないため、その場合は気配値等を用いて算出。

日経225構成 銘柄の始値 (SQ値)

日経225構成銘柄が「すべて」寄り付いた後に算出するため、必ずしも前場直後に確定しない。日経平均の始値と異常に乖離することもある。（通称：幻のSQ）

なお、SQまで保有を続けたオプションは、自動的に清算されるため、SQ日に自分で何か操作をする必要はありません。

ただし注意点として、取引ができるのはSQ前営業日の「日中立会」終了時間（15:45）までです。

SQ 前営業日の「ナイトセッション」(17:00 以降)では、すでに SQ 対象月のオプションは取引できなくなっています。

SQ までオプションを持ち越す予定がない場合は、必ず、取引最終日の「日中」までに返済(決済)を済ませるようにしましょう。

タイムディケイとは



タイムディケイとは、満期日（SQ）に近づくにつれて、オプションの価格（プレミアム）が徐々に減少していく（剥げていく）現象のことです。

これは、オプション特有の特徴であり、時間が経過するだけで価値が減っていくという点で、他の金融商品とは大きく異なります。

実際にトレードを始めるとよくわかるのですが、オプションは原資産の価格が変動しなくても、「時間の経過」によって損得が変化する非常に特殊な商品です。

特に、権利行使価格が現在の株価から離れているオプション（OTM＝アウト・オブ・ザ・マネー）は、満期（SQ）に近づくにつれて価格がゼロに近づいていきます。

イメージは下のとおりです。

月日	日経平均 (終値)	オプション	プレミアム
7/24	37,000	08p30,000	@60
8/3	37,000	08p30,000	@20
8/10	37,000	08p30,000	@5
8/12	37,000	08p30,000	@1

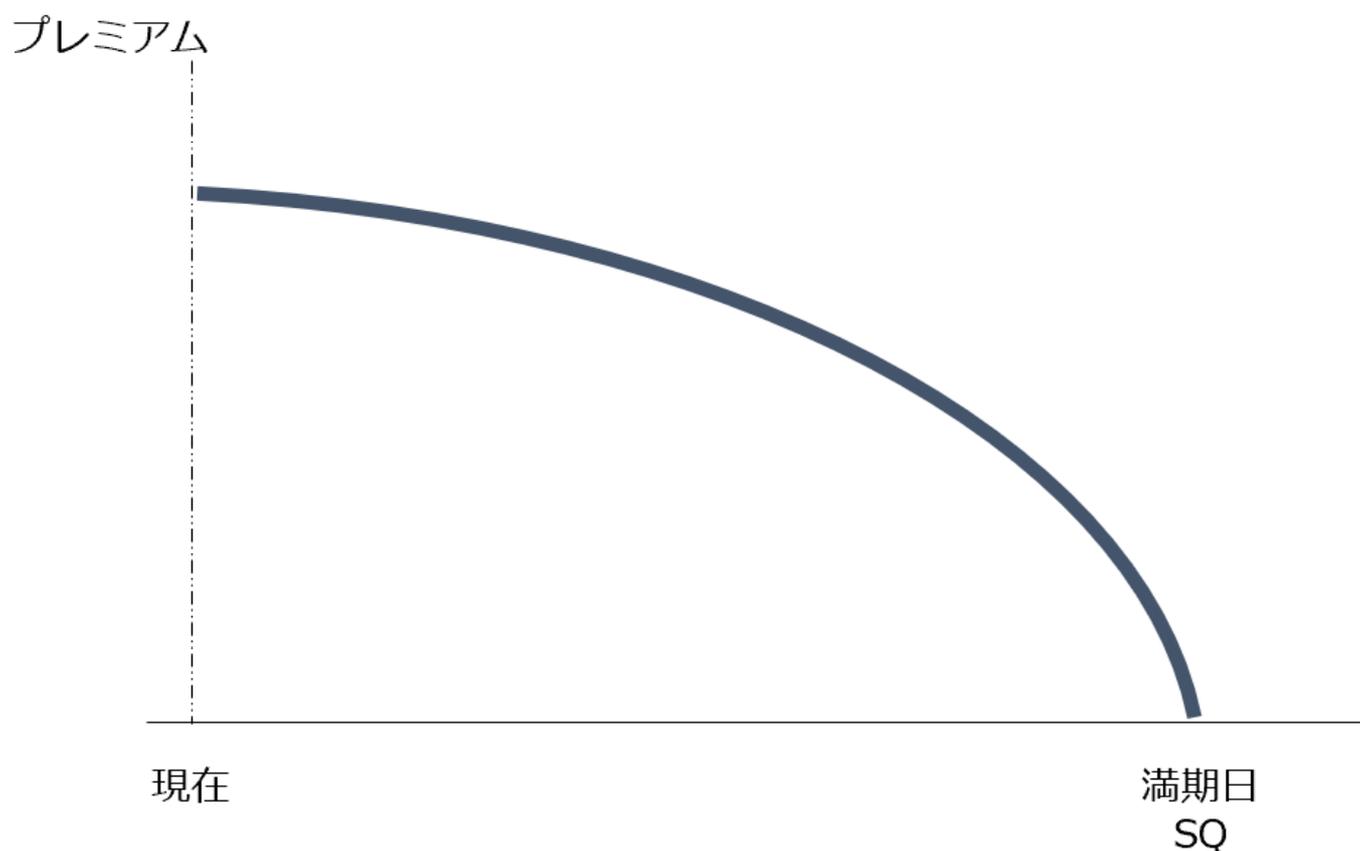
このように、たとえ日経平均がまったく動かなかったとしても、オプションの価格（プレミアム）は時間とともに下がっていくのです。

たとえば、日経平均が 37,000 円のまま変動しないと仮定した場合でも、SQ までの残り日数が 30 日あるときと、20 日あるとき、10 日しかないときでは、「日経平均が 30,000 円を下回る確率

（保険金を受け取れる確率）」は大きく異なります。

この「確率の差」が、プレミアム（価格）の差に反映されるのです。

日経平均が変わらなかつた場合、タイムディケイによってオプション価格が減少していくイメージは以下のとおりです。



特に SQ の 2 週間前くらいからは、タイムディケイによる価格の減少幅が大きくなるため、体感としてもその影響を強く感じるようになります。

また、現在の日経平均から遠い権利行使価格のオプション（＝より OTM なオプション）ほど、より早くプレミアムが 1 に近づきます。

それは、現在の日経平均が 37,000 円の時、「30,000 円を下回る」確率と「25,000 円を下回る」確率では大きな差があるからです。

当然、確率が低い（＝起きにくい）ほど、オプションの価値は早く減っていくのです。

私自身は、このタイムディケイの恩恵を最大限に活かすために、どんなに遅くとも SQ の 2 週間

前にはポジションを取り終えるようにしています。

プレミアムとは



オプション一覧画面で、「権利行使価格」の隣に表示されているのが「プレミアム」です。

プレミアムとは、オプションを売買するときの価格のことで、暴落保険を売買するときの「保険料」にあたる金額です。

コールオプション					中心値	プットオプション				
注文	出来高	IV	前日比	現在値	行使価格	現在値	前日比	IV	出来高	注文
新規	40	24.66	-2	70	38,875	-	-	27.22		新規
新規	92	23.64	-3	87	38,750	-	-	25.71		新規
新規	15	23.28	-5	115	38,625	-	-	25.35		新規
新規	112	24.81	0	170	38,500	450	+15	27.17	7	新規
新規	15	24.95	+15	220	38,375	-	-	24.95		新規
新規	44	25.19	0	280	38,250	295	-10	26.08	37	新規
新規		25.09	-	-	38,125	235	-20	26.00	16	新規
新規	27	26.53	+30	435	38,000	190	-10	26.53	96	新規
新規	1	26.32	+35	515	37,875	155	-20	27.33	7	新規
新規	2	22.23	-40	570	37,750	135	+5	29.09	32	新規
新規		28.64	-	-	37,625	105	-10	29.24	4	新規
新規	7	23.23	-15	785	37,500	89	0	30.26	673	新規

プット・オプションを「買う」場合はプレミアムを支払う側（保険料を払う側）になり、プット・オプションを「売る」場合はプレミアムを受け取る側（保険料を受け取る側）になります。

プレミアムは、権利行使価格ごとに異なり、日経平均株価の動きに応じてリアルタイムで変動します。

また、日経 225 オプションの取引単位は 1,000 倍です。

つまり、表示されているプレミアムに 1,000 円をかけた金額が実際に売買される金額になります。

（たとえば、プレミアムが 10 円なら、1 枚あたり 10,000 円で売買されるということです）

プレミアムの価格には、次のような傾向があります。

- 現在の日経平均に近い権利行使価格ほど、プレミアムが高くなる
- 日経平均から離れた権利行使価格ほど、プレミアムが安くなる

これは、「満期日までにこの権利行使価格を下回るかもしれない」という期待の大きさが価格に反映されるためです。

期待値が高い＝保険金をもらえる可能性が高いということなので、高いプレミアムでも購入したいと考える人が多くなります。

逆に、現在値から遠く離れた価格のプット・オプションは、満期日までに到達する可能性が低

いため、プレミアムが低くなる＝保険料も安くなるという仕組みです。

最後に、イメージしやすいように具体例を紹介します。

プット・オプション買いの例

「満期日までに 28,000 円を下回る可能性があるから備えておきたい」と思えば、権利行使価格 28,000 円のプット・オプション（暴落保険）を購入します。

プレミアムが 20 円と表示されていれば、 $20 \text{ 円} \times 1,000 = 2 \text{ 万円}$ の保険料を支払って、暴落保険を購入することになります。

そして、満期日に日経平均が 28,000 円を下回れば、あなたは保険の権利を行使して、保険金（利益）を受け取ることができます。

一方で、満期日に日経平均が 28,000 円を下回らなければ、支払った保険料 2 万円はそのまま損失になります。

プット・オプション売りの例

「満期日までに 26,000 円を下回ることはないだろう」と判断した場合、権利行使価格 26,000 円のプット・オプションを他の投資家に販売（売り）します。

プレミアムが 10 円と表示されていれば、 $10 \text{ 円} \times 1,000 = 1 \text{ 万円}$ の保険料を投資家から受け取ります。

満期日に日経平均が 26,000 円を下回らなければ、オプションは行使されず、保険料 1 万円がそのまま利益となります。

逆に、日経平均が 26,000 円を下回れば、投資家が保険を行使してくるため、あなたは損失（保険金の支払い）を被ることになります。

日経平均とプレミアムの 値動きの関連性について



続いて、オプション取引を行う上で非常に重要となる、「日経平均」と「プレミアム」の値動きの関係性について詳しく解説していきます。

日経 225 オプションは、日経平均の動きと連動していますが、「タイムディケイ（時間の経過による価格減少）」の影響を受けるため、株や投資信託とはまったく異なる値動きをします。

初めのうちは少し難しく感じるかもしれませんが、何度か読み返していくうちに、自然と感覚でつかめるようになります。

ここからは、日経平均とオプションのチャートを比較しながら、実際の値動きを確認していきましょう。

日経 225 オプションの取引時間は、朝 8:45～翌朝 6:00 までですが、原資産である日経平均株価の取引時間は 9:00～15:00 に限られています。

そのため、日経平均株価と日経 225 オプションの値動きを比較する際には、取引時間が一致している「日経 225 先物」と比較するのが一般的です。（日経 225 先物は、日経平均株価とほぼ同じ動きをします）

まず、2025 年 5 月 12 日～5 月 29 日までの実際の値動きを見ていきます。

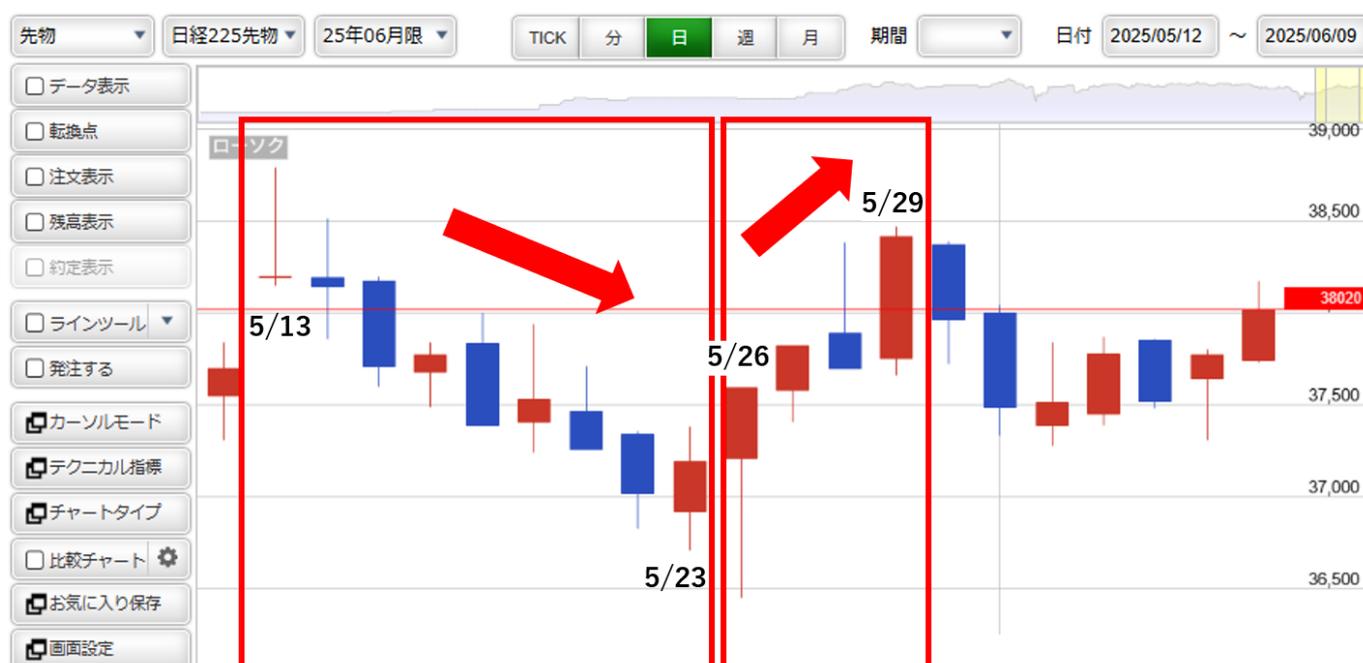
この期間、日経平均は次のように推移しました：

■5月13日～5月23日

下落トレンド

■5月26日～5月29日

再び上昇



それでは、この期間における「06P32000」のプレミアムの変化を見てみましょう。

■5月13日～5月23日

日経平均の下落に伴い、プレミアムは上昇

■5月26日～5月29日

日経平均の上昇に伴い、プレミアムは下落



このように、日経平均が権利行使価格の 32,000 円に近づくと、満期日に 32,000 円を下回る可能性が高くなるため（保険金を受け取れる可能性が高くなるため）、「高いプレミアムを払ってでも買いたい」という投資家が増え、プレミアムは上昇します。

一方、日経平均が 32,000 円から離れていくと、満期日に 32,000 円を下回る可能性が低くなるため、プレミアムは下落します。

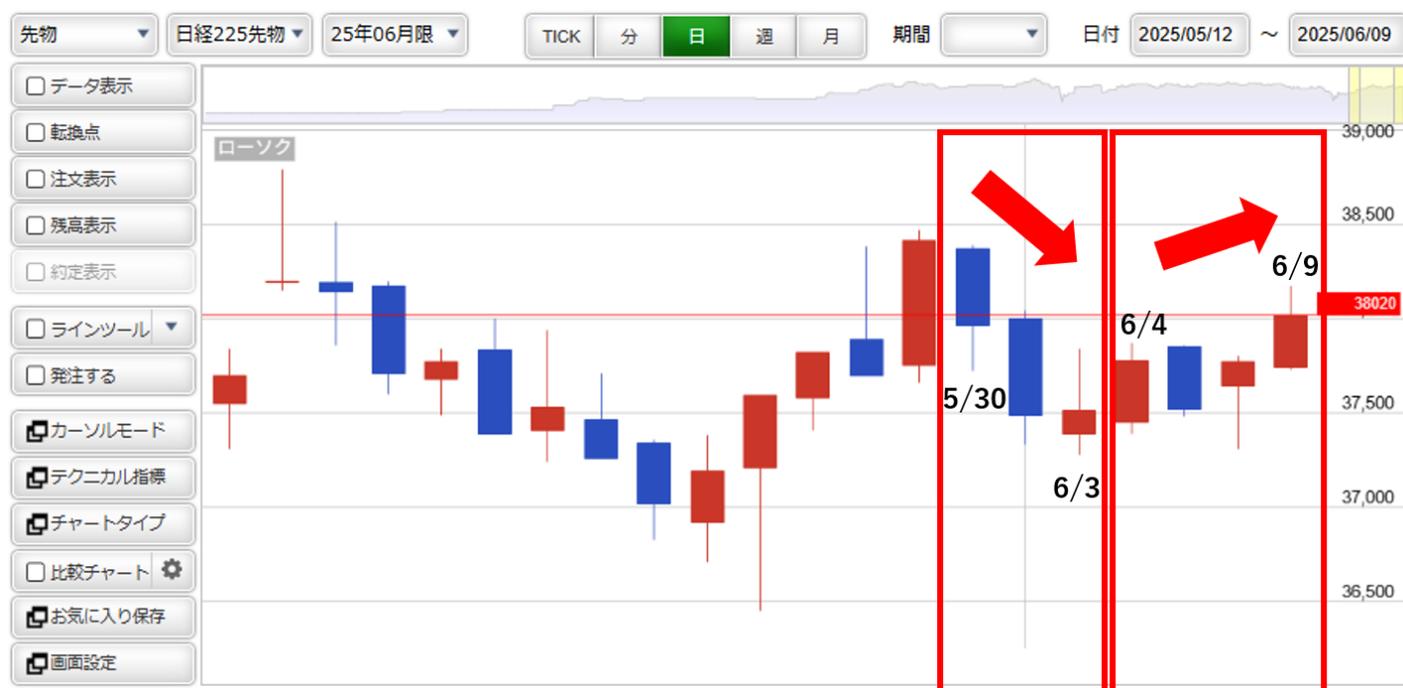
ここで、さらに注目したいのが、5 月 30 日以降の値動きです。

■5月30日～6月3日

下落

■6月4日以降

緩やかに上昇



この期間における「06P32000」のプレミアムの
変化を見てみましょう。

■5月30日～6月3日

ほぼ横ばい

■6月4日以降

急激に下落



通常であれば、日経平均が下落すればプット・オプションのプレミアムは上がるはずですが、プレミアムは上昇しませんでした。

これはなぜかというところ、「日経平均の下落によるプレミアム上昇の効果」と「タイムディケイによるプレミアム減少の効果」が打ち消し合っていたためです。

言い換えると、日経平均が 32000 に近づいたことにより、P32000 を少し高い価格で買おうかと思う一方で、SQ 日までにもう数日しかない中で、日経平均が 32000 を下回る可能性は低いいため、そんな高い価格では買ってもなという思惑が拮抗したため、プレミアムが上がらなかったとも言えます。

さらに、6月4日以降は、日経平均が 32,000 円から離れていったことで、プレミアムの下落効果が強まり、SQ が近づいたことによるタイムディケイの影響も加わった結果として、プレミアムは急激にゼロに近づいていったのです。

プレミアムの値動きは、大きく分けて2つの力が影響しています：

① 日経平均の変動（上昇 or 下落）

② タイムディケイ（時間経過による減価）

この2つの力が合わさって、プレミアムの上昇・下落が決まるというわけです。

最初は戸惑うかもしれませんが、実際に取引をしながら学ぶことで、少しずつ感覚がつかめてきます。

このパートは非常に重要ですので、ぜひ何度も読み返して、しっかりと理解しておいてください。

相場暴落時のプレミアムと 損失の変動イメージ



今後、オプション取引を学んでいくと、「オプションの売りは危険だ」という言葉を耳にする機会があると思います。

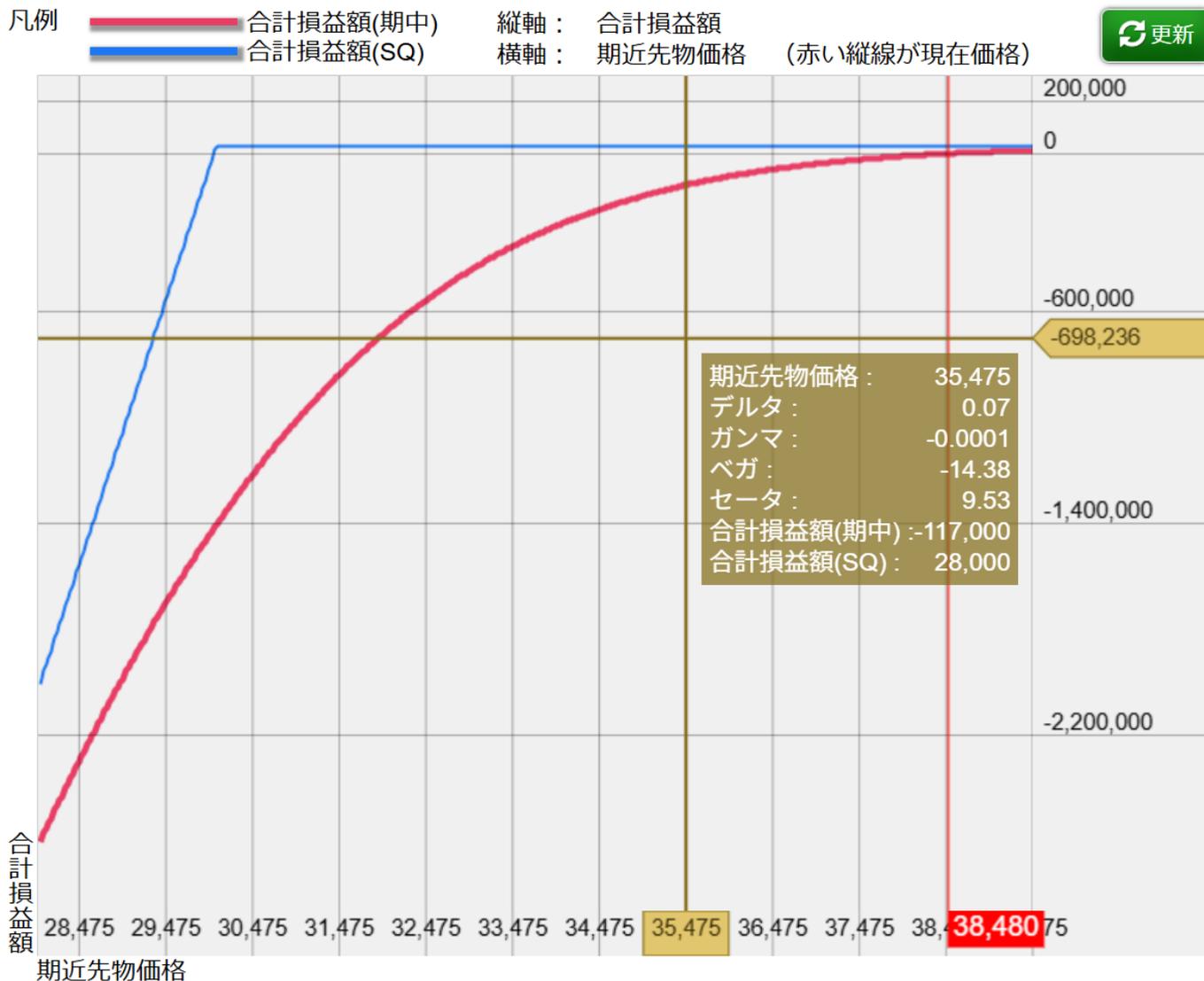
しかし、実際には「どのくらい危ないのか？」を、具体的に解説してくれる書籍は意外と少ないのが現実です。

そこで、この章では、日経平均がどれくらい動くと、プレミアムや評価損がどう変化するのかをシミュレーションして、リスクの実態を可視化していきます。

■プット売りの損益シミュレーション

仮に、現在の日経平均が 38,480 円（赤線）だと
して、1 日で約 3,000 円の急落が起き、35,475
円（黄土色の線）まで下がったとしましょう。

このとき、権利行使価格 29,000 円のプット・オ
プションを「28 円」で 1 枚売っていた場合、ロ
スカットなどの対策を何もしなかったら、どれ
ほどの評価損を抱えることになるのかを見てい
きます。

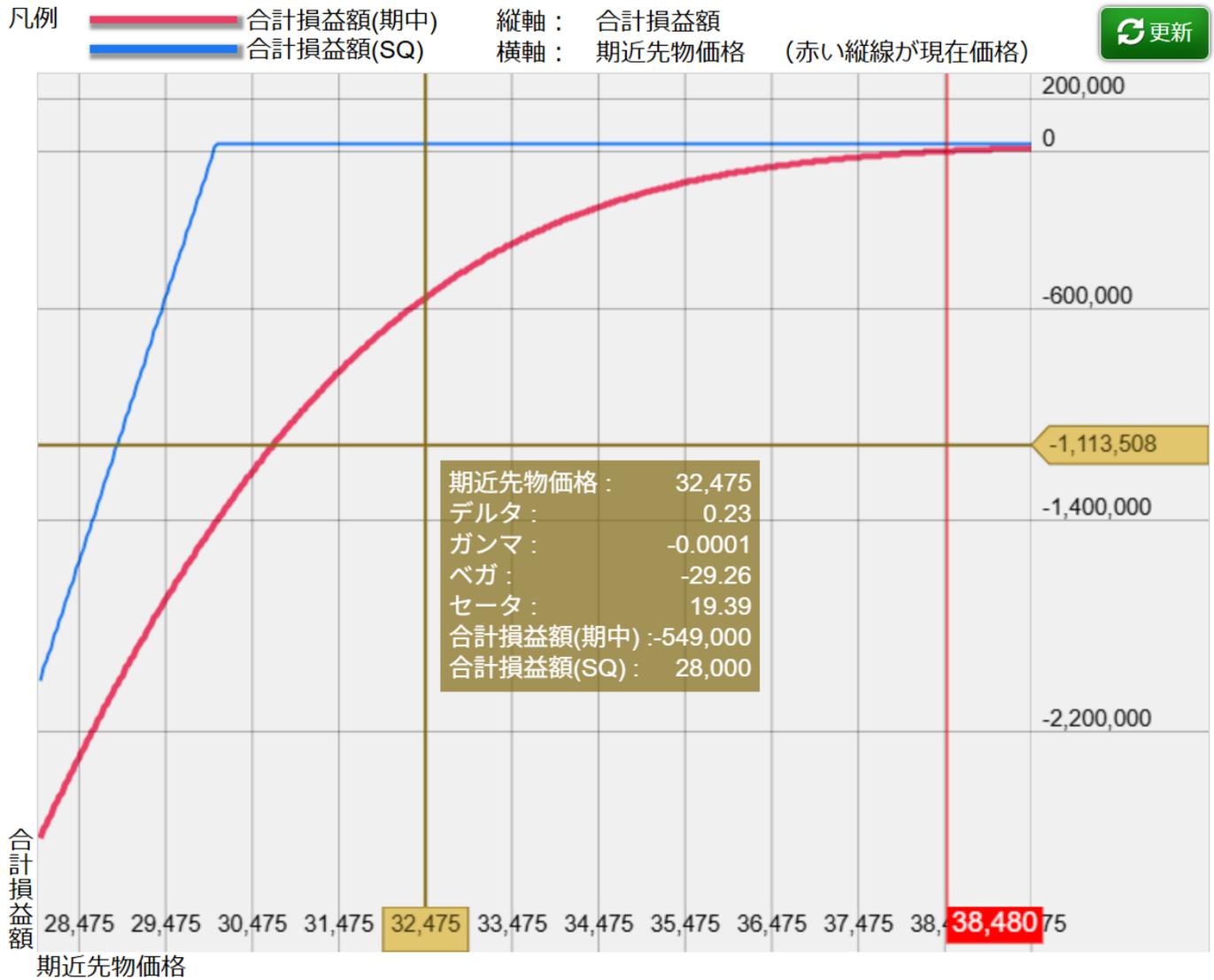


まずはこの時点の損益を確認してみましょう。

- 評価損益（期中）：▲117,000円
- プレミアム：28円→145円に上昇

この「評価損益（期中）」というのは、あくまで“現時点の評価額”であり、オプションを実際に買い戻さない限り、損失は確定しません。

では、さらに日経平均がもう 3,000 円下落して、32,475 円になった場合はどうなるでしょうか？



- 評価損益（期中）：▲549,000円
- プレミアム：28円→577円に上昇

プレミアムが急騰し、かなり大きな評価損が発生してきました。

ここで注意すべきなのは、評価損が 50 万円を超えているにもかかわらず、権利行使価格の 29,000 円まではまだ約 3,000 円の距離があるという点です。

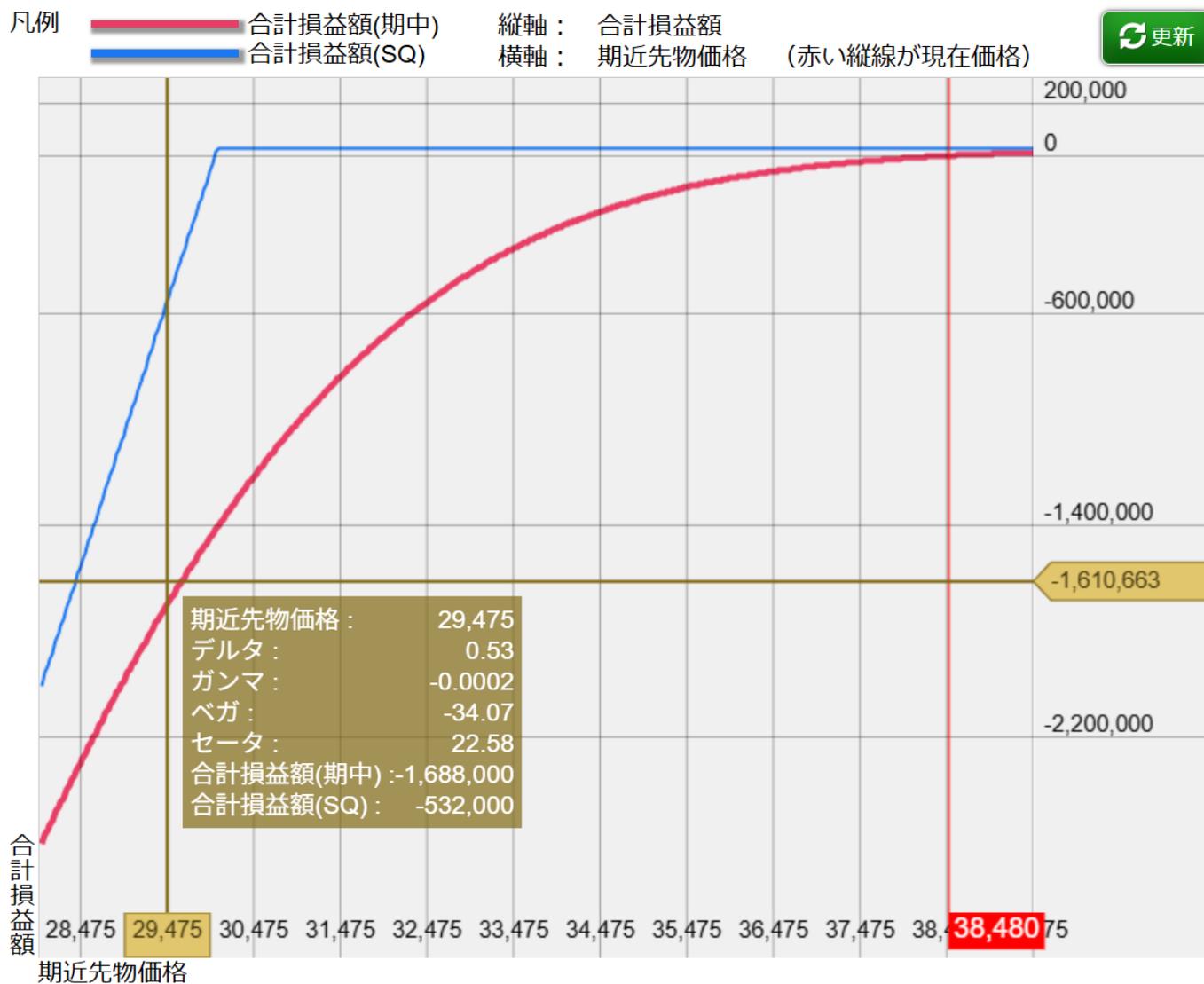
言い換えると、SQ まで残り数日で 29000 円以下まで下落しなければ、このプットオプションの売りは権利行使されないため、SQ 時点では価値が 0 となり、最初に受け取った保険料分の利益が手元に残るということです。

このような状況になると、多くの人是这样考えてしまいます。

「SQ までに 29,000 円を下回らなければ、評価損はゼロになる。これだけ急落したのだから、そろそろ反発するはずだ。もう少し我慢しよう。」

しかし、こうして楽観的に構えて何の対策も取らないと、さらなる急落に巻き込まれるリスクが高まります。

仮に、翌日にさらに 3,000 円下落して、日経平均が 29,475 円まで下がったとしましょう。



- 評価損益（期中）：▲1,680,000円
- プレミアム：28円→1,716円に上昇

ここまでプレミアムが上昇すると、多くの場合、証拠金が足りなくなり、強制ロスカットが執行されてしまうこととなります。

結果として、大きな損失を抱えて退場せざるを得なくなるのです。

これが、「プット・オプションの売りは危ない」と言われる理由です。

確かに、損失が指数関数的に膨らむリスクがあるため、“危険”と表現されるのは正しいと言えるでしょう。

しかし、実際に取引する際は、

- プレミアムが2倍になったら損切り
- プレミアムが100円を超えたら損切り

といったように、明確なルールで損切りを徹底するのが常識です。

そのため、今回のような極端な状況になることは、あくまで「損切りをしなかった場合」のリスクとして理解しておいてください。

限月とは



限月（げんげつ）とは、オプションが満期を迎える月のことを指します。

たとえば、8月の第2金曜日がSQ日であれば「8月限（がつぎり）」、9月の第2金曜日がSQ日であれば「9月限」と表現します。

日経225オプションでは、「08p28000」
「09p24000」のような表記を使います。

このうち、先頭の数字（08や09）を見ることで、「何月限のオプションか」がすぐに分かるようになっています。

また、時折登場する表現として、「期近（きちか）」と「期先（きさき）」という言葉があります。

たとえば、8月限と9月限のオプションがある場合

- 期近のオプション→8月限
- 期先のオプション→9月限

というように、より近い満期のオプションを「期近」、先の満期のオプションを「期先」と呼びます。

そして、実際の取引では、ほとんどの投資家が「期近」のオプションを選んで取引します。

その理由は、以下の通りです。

- 期先のオプションは取引量（出来高）が少なく、売買が成立しにくい
- 相場が急変したとき、希望した価格で約定できないリスクが高まる

このため、取引に慣れるまでは、原則として「期近」のオプションを取引するようにしましょう。

無理に期先を選ぶメリットは少なく、流動性（売買のしやすさ）と安定性を重視することが、初心者にとってはとても重要です。

ATM・ITM・OTMとは



日経 225 オプションでは、「権利行使価格」と「現在の日経平均株価」との関係によって、

- ATM（アット・ザ・マネー）
- OTM（アウト・オブ・ザ・マネー）
- ITM（イン・ザ・マネー）

という 3 つの分類が使われます。

ここでは、それぞれの意味をわかりやすく解説していきます。

■ATM（アット・ザ・マネー/エーティーエム）

とは？

ATMとは、現在の日経平均株価に最も近い権利行使価格のことを指します。

たとえば

- 日経平均が 27,480 円→ATM は 27,500 円
- 日経平均が 27,620 円→ATM は 27,625 円

という具合に、日経平均を四捨五入して一番近い価格が ATM になります。

証券会社の画面では、ATM が赤文字で表示されたり、松井証券なら「中心値」ボタンを押すと ATM が中央に表示されたりするため、どの価格が ATM かすぐに確認できます

もちろん、日経平均が変動すれば、ATM もリアルタイムで変化します。

コールオプション					中心値	プットオプション				
注文	出来高	IV	前日比	現在値	行使価格	現在値	前日比	IV	出来高	注文
新規	40	24.66	-2	70	38,875	-	-	27.22		新規
新規	92	23.64	-3	87	38,750	-	-	25.71		新規
新規	15	23.28	-5	115	38,625	-	-	25.35		新規
新規	112	24.81	0	170	38,500	450	+15	27.17	7	新規
新規	15	24.95	+15	220	38,375	-	-	24.95		新規
新規	44	25.19	0	280	38,250	295	-10	26.08	37	新規
新規		25.09	-	-	38,125	235	-20	26.00	16	新規
新規	27	26.53	+30	435	38,000	190	-10	26.53	96	新規
新規	1	26.32	+35	515	37,875	155	-20	27.33	7	新規
新規	2	22.23	-40	570	37,750	135	+5	29.09	32	新規
新規		28.64	-	-	37,625	105	-10	29.24	4	新規
新規	7	23.23	-15	785	37,500	89	0	30.26	673	新規

■OTM（アウト・オブ・ザ・マネー/オーティエム）とは？

権利行使価格が ATM よりも外側にある状態のことを言います。

- コール側（買う権利）：権利行使価格が ATM より上
- プット側（売る権利）：権利行使価格が ATM より下

コールオプション					中心値	プットオプション				
注文	出来高	IV	前日比	現在値	行使価格	現在値	前日比	IV	出来高	注文
新規	40	24.66	-2	70	38,875	-	-	27.22		新規
新規	92	23.64	-3	87	38,750	-	-	25.71		新規
新規	15	23.28	-5	115	38,625	-	-	25.35		新規
新規	112	24.81	0	170	38,500	450	+15	27.17	7	新規
新規	15	24.95	+15	220	38,375	-	-	24.95		新規
新規	44	25.19	0	280	38,250	295	-10	26.08	37	新規
新規		25.09	-	-	38,125	235	-20	26.00	16	新規
新規	27	26.53	+30	435	38,000	190	-10	26.53	96	新規
新規	1	26.32	+35	515	37,875	155	-20	27.33	7	新規
新規	2	22.23	-40	570	37,750	135	+5	29.09	32	新規
新規		28.64	-	-	37,625	105	-10	29.24	4	新規
新規	7	23.23	-15	785	37,500	89	0	30.26	673	新規

OTM は、日経平均がその価格に届かなかったことを意味し、満期（SQ）を迎えると、以下のような損益になります。

- 買い手：支払った保険料（プレミアム）分が損失
- 売り手：受け取った保険料分が利益

ちなみに、ATM からかなり離れている OTM は、「ファー・アウト・オブ・ザ・マネー」と呼ばれます。

通常、オプション取引では、この OTM を売買することが基本になります。

■ITM（イン・オブ・ザ・マネー/アイ・ティ ー・エム）とは？

ITMとは、権利行使価格がATMよりも内側にある状態を指します。

- コール側：権利行使価格がATMより下
- プット側：権利行使価格がATMより上

コールオプション					中心値	プットオプション				
注文	出来高	IV	前日比	現在値	行使価格	現在値	前日比	IV	出来高	注文
新規	40	24.66	-2	70	38,875	-	-	27.22		新規
新規	92	23.64	-3	87	38,750	-	-	25.71		新規
新規	15	23.28	-5	115	38,625	-	-	25.35		新規
新規	112	24.81	0	170	38,500	450	+15	27.17	7	新規
新規	15	24.95	+15	220	38,375	-	-	24.95		新規
新規	44	25.19	0	280	38,250	295	-10	26.08	37	新規
新規		25.09	-	-	38,125	235	-20	26.00	16	新規
新規	27	26.53	+30	435	38,000	190	-10	26.53	96	新規
新規	1	26.32	+35	515	37,875	155	-20	27.33	7	新規
新規	2	22.23	-40	570	37,750	135	+5	29.09	32	新規
新規		28.64	-	-	37,625	105	-10	29.24	4	新規
新規	7	23.23	-15	785	37,500	89	0	30.26	673	新規

ITM のオプションは、満期 (SQ) を迎えると、

- 買い手：権利を行使することで利益（保険金）が出る
- 売り手：損失（保険金の支払い）が発生する

また、ATM よりもかなり内側に入り込んだ ITM（例：ATM から 5 つ以上離れている）は、「ディープ・イン・ザ・マネー」と呼ばれます。

ATM が変化すれば、ITM のオプションも変化します。

ATM、OTM、ITM の分類は、オプション取引の基本用語として非常によく使われます。

会話や分析で頻出する言葉なので、それぞれの意味をしっかりと理解しておきましょう。

プット・オプションの 損益計算方法



オプションの損益計算は、株や投資信託に比べて、やや複雑です。

なぜ、複雑なのかというと、

(1) SQ 前にポジションを手動で決済する場合

(2) SQ 日にポジションが自動的に清算される場合

で、損益の計算方法が全く異なるからです。

また、実際の取引では、(1)のようにSQ前にポジションを決済するケースが圧倒的に多いです。

しかし、一般的な書籍では、(2)のSQまでポジションを持ち越して自動清算される場合しか説

明されていないことが多く、その結果、多くの読者が混乱してしまいます。

そこで本書では、この2つの計算方法をしっかり区別して、わかりやすく解説していきます。

SQ前にプット買いを返済 するときの損益計算方法



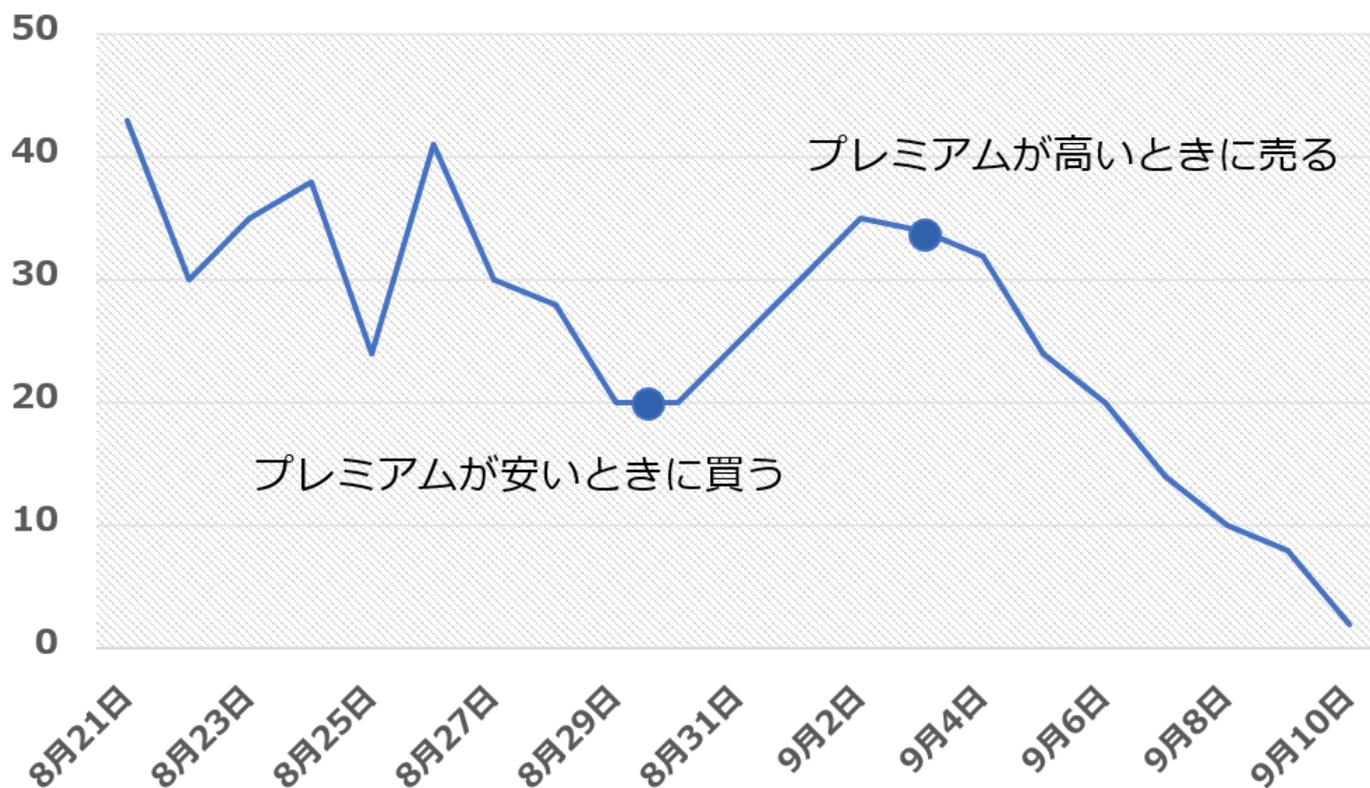
SQ 前にオプションを返済する場合、損益の計算は非常にシンプルで、以下の2つの要素で計算できます。

(1) エントリー時のプレミアム

(2) 返済時のプレミアム

たとえば、プット・オプションを20円で購入し、その後プレミアムが37円に上昇したタイミングで返済した場合、 $(37-20) \times 1000 = 17,000$ 円の利益になります。

プット・オプションのプレミアムの推移

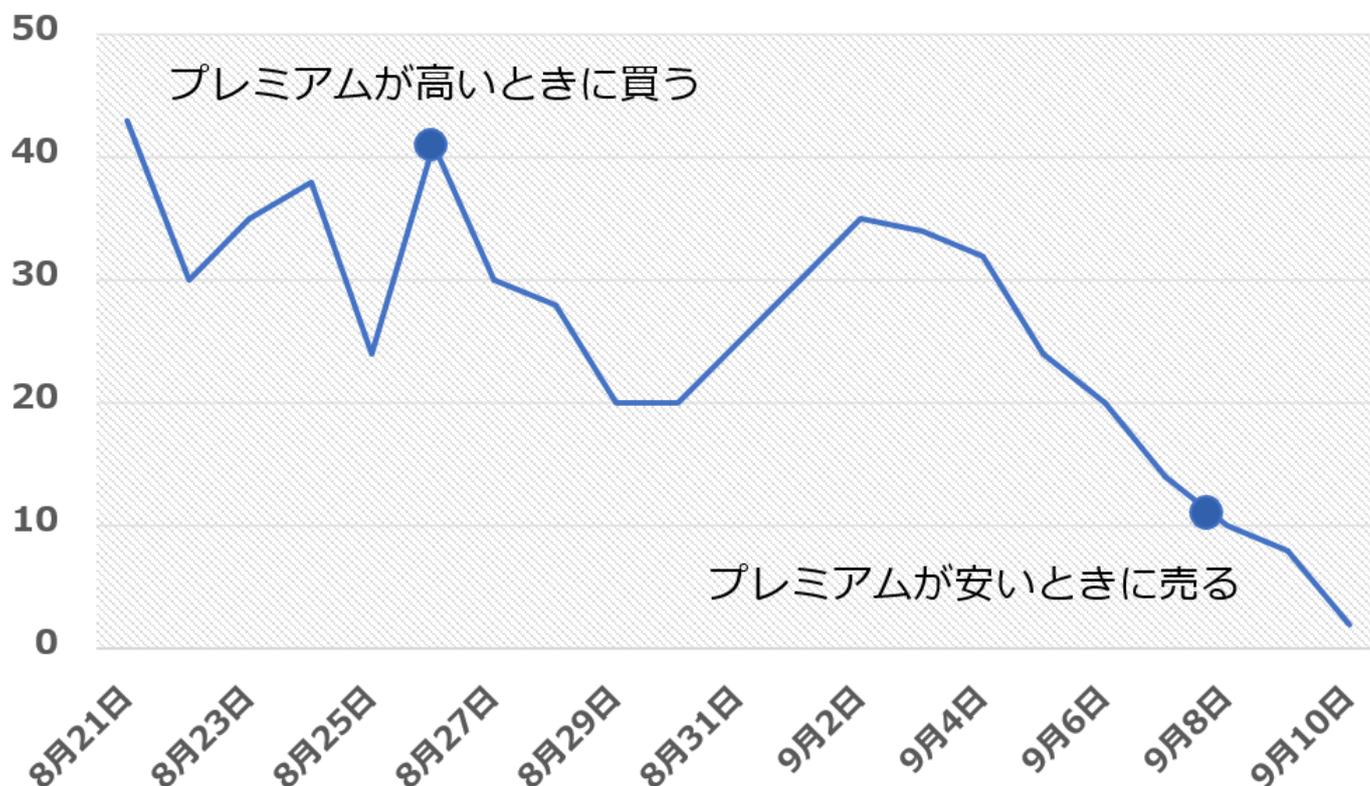


具体的なシーンとしては、プット・オプションを購入した後、日経平均が暴落し、プット・オプションの権利行使価格に到達する確率が高くなったことにより、プレミアムが高騰したシーンなどが考えられます。

逆に、38円で購入したプット・オプションが、日経平均の上昇により10円に値下がりし、その

価格で返済した場合は、 $(10-38) \times 1000 = -28,000$ 円の損失となります。

プット・オプションのプレミアムの推移



私たちが通常取引するプット・オプションは、日経平均が大きく下落しない限り、タイムディケイ（時間価値の減少）によってプレミアムが徐々に下がっていき、最終的にSQ時点でゼロになります。

これは、SQ 日が近づくにつれて、プット・オプション（暴落保険）を買っても、暴落が起きて保険金を受け取れる確率が下がっていくからです。

無駄になることがわかっている保険に、わざわざ高い保険料を払う投資家はいません。

そのため、相場がほとんど動かなかった場合、購入時よりプレミアムが下がり、損失になるケースが多いです。

SQ 前にプット買いを返済する場合の損益についてまとめておきます。

POINT

- ・ SQ 前に返済する場合、損益はプレミアムの変動のみが影響する（権利行使価格や SQ 値は関係なし）
- ・ 購入時より高いプレミアムで売却すれば利益が出て、安ければ損失が出る
- ・ 相場が動かない場合、プレミアムが減価して損失になることが多い
- ・ 日経平均が暴落すればプレミアムが急騰し、利益になる。

SQ前にプット売りを返済 するときの損益計算方法



売りポジションを SQ 前に返済（買い戻し）する場合も、損益は以下の 2 つの要素で計算できます。

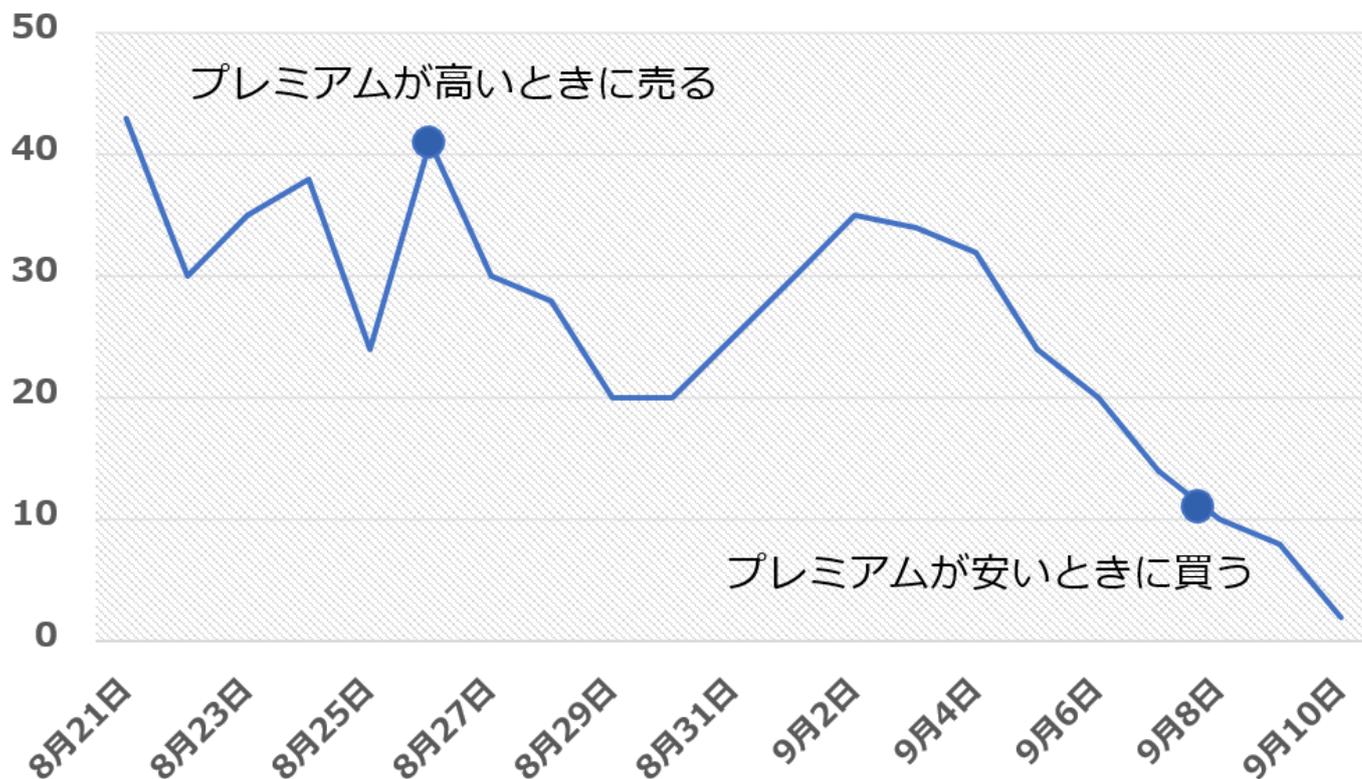
(1) エントリー時のプレミアム

(2) 返済時のプレミアム

たとえば、41 円でプット・オプションを売ったとします。

その後、日経平均が上昇してプレミアムが 10 円に下がったときに返済（買い戻し）すれば、
 $(41-10) \times 1000 = 31,000$ 円の利益になります。

プット・オプションのプレミアムの推移

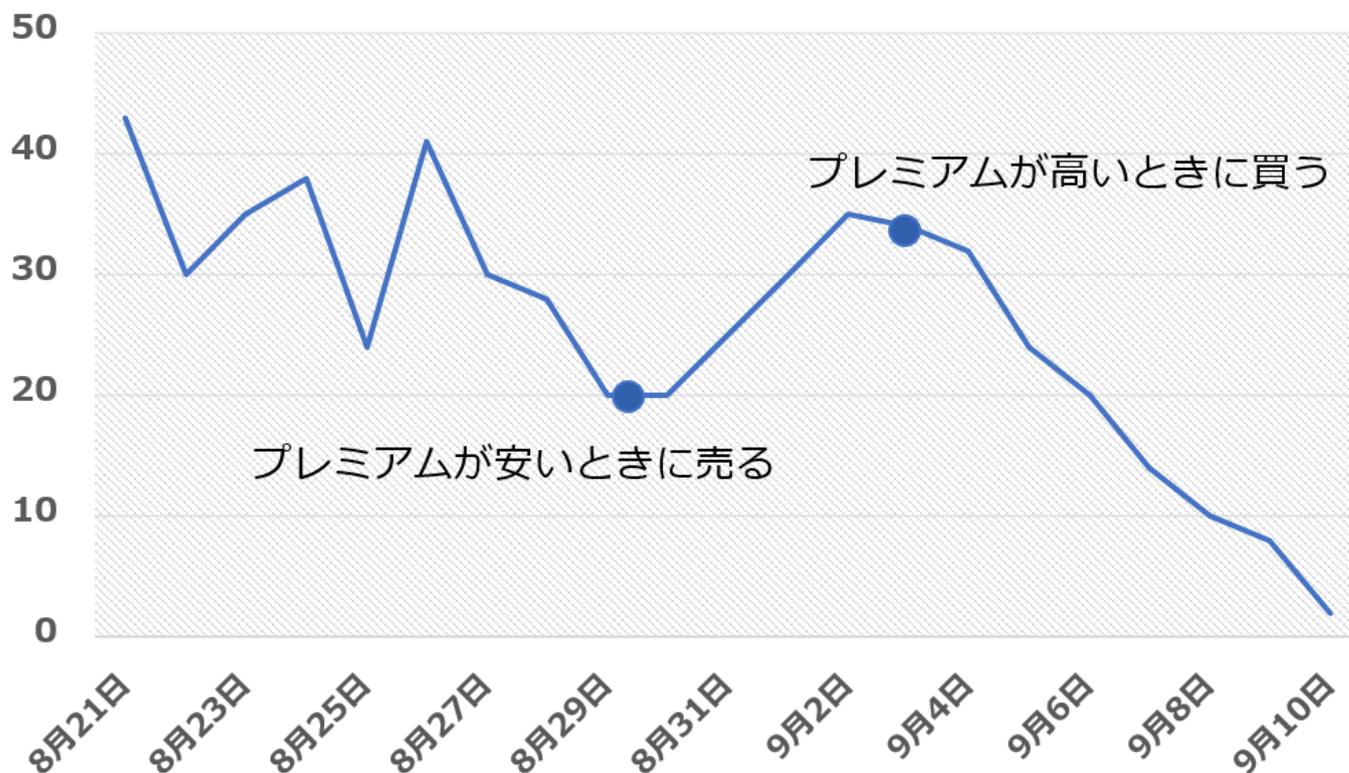


さきほどお話ししたとおり、私達が通常取引するプット・オプションはプレミアムがタイムディケイの影響で徐々に下がっていき、SQ時点で0になります。

そのため、プット売りは時間が経てば経つほど、プレミアムがタイムディケイの影響で、減価するため、利益が増えていきます。

一方、20円で売ったプット・オプションのプレミアムが35円に上がった場合、 $(20-35) \times 1000 = -15,000$ 円の損失になります。

プット・オプションのプレミアムの推移



具体的なシーンとしては、プット・オプションを売った後、日経平均が大きく暴落し、プット・オプションの権利行使価格に到達する確率が高くなったことにより、プレミアムが高騰したシーンなどが考えられます。

SQ 前にプット売りを返済する場合の損益をまとめておきます。

POINT

- ・ SQ 前に返済する場合、損益はプレミアムの変動のみが影響する（権利行使価格や SQ 値は関係なし）
- ・ 売った時より低いプレミアムで買い戻せば利益が出て、高ければ損失が出る
- ・ 相場が安定していると、プレミアムが減価して利益になる
- ・ 日経平均が暴落すればプレミアムが急騰し、損失になる可能性が高い

次は、オプションを SQ まで保有した場合の自動清算による損益計算方法を解説していきます。

繰り返しになりますが、実際の取引現場では、SQ 前に返済するほうが圧倒的に多いです。

ただ、SQ まで保有して自動清算することもあるので、損益の計算方法はしっかり理解しておいてください。

SQにプット買いを自動清算 するときの損益計算方法



SQ までポジションを持ち越し、自動的に清算された場合の損益を計算する際には、次の3つの項目を使います。

(1) 権利行使価格

(2) SQ 値（最終的な清算価格）

(3) エントリー時のプレミアム（支払い保険料）

このとき、損益を正確に把握するには、次の2つの要素に分けて計算し、合算する必要があります。

(1) プット・オプションの購入費用（＝マイナス要因）

(2) プット・オプションの権利行使・放棄の損益（＝プラス要因またはゼロ）

たとえば、権利行使価格 38,000 円、プレミアム 200 円のプット・オプションを購入し、SQ まで保有したとしましょう。

■プット・オプションの購入費用

プット・オプションの購入費用は、オプションを購入した時点で必ず発生するコストです。

（暴落保険の保険料）

相場がどう動いても、この $200 \text{ 円} \times 1000 \text{ 倍} = 20 \text{ 万円}$ の費用は返ってきません。

縦軸が SQ 時点での損益、横軸が日経平均株価（SQ 値）のチャートで表すと、購入費用分だけ常にマイナス 20 万円の水準（橙線）になります。

損益

+1,000,000

+600,000

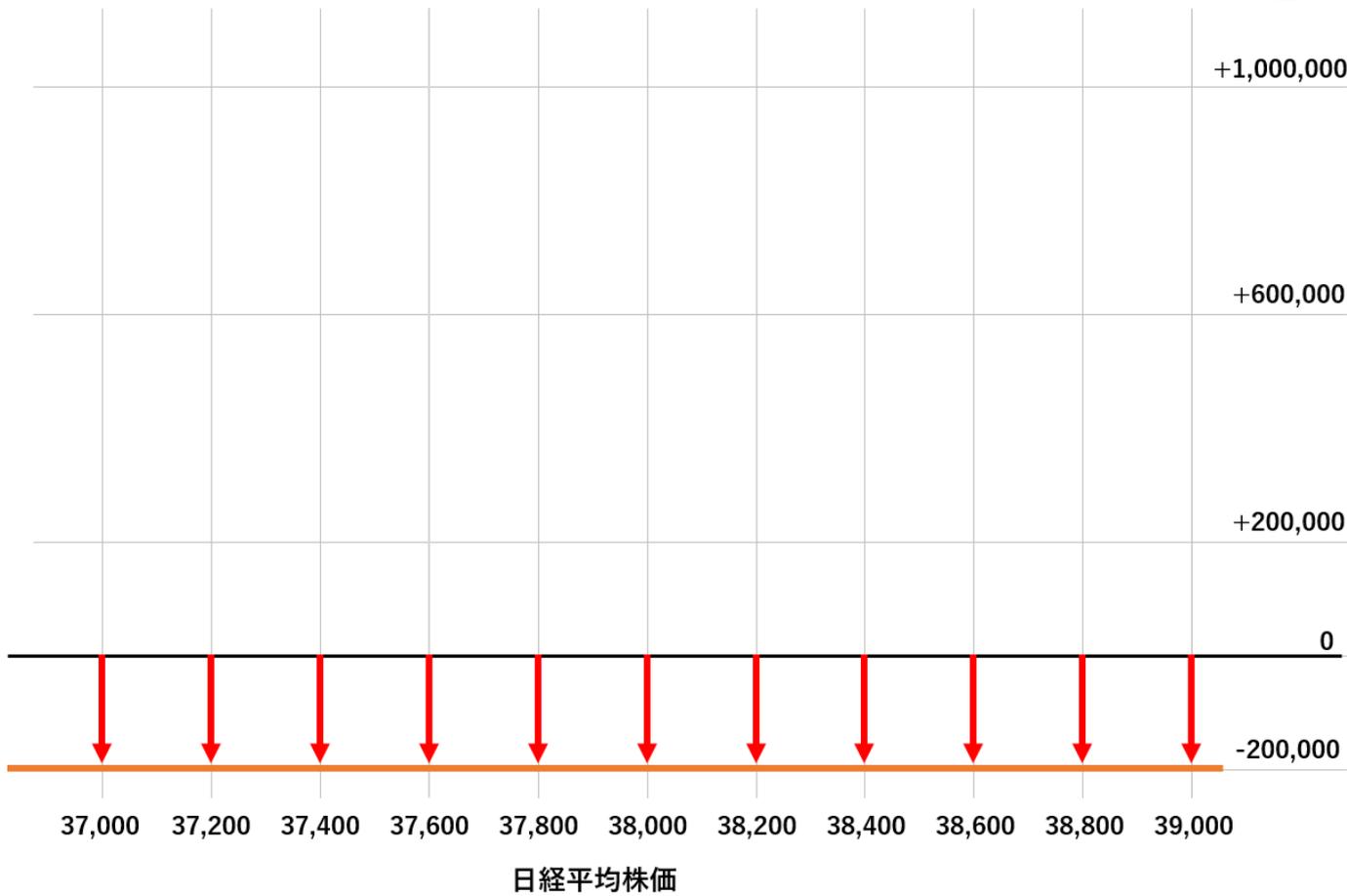
+200,000

0

-200,000

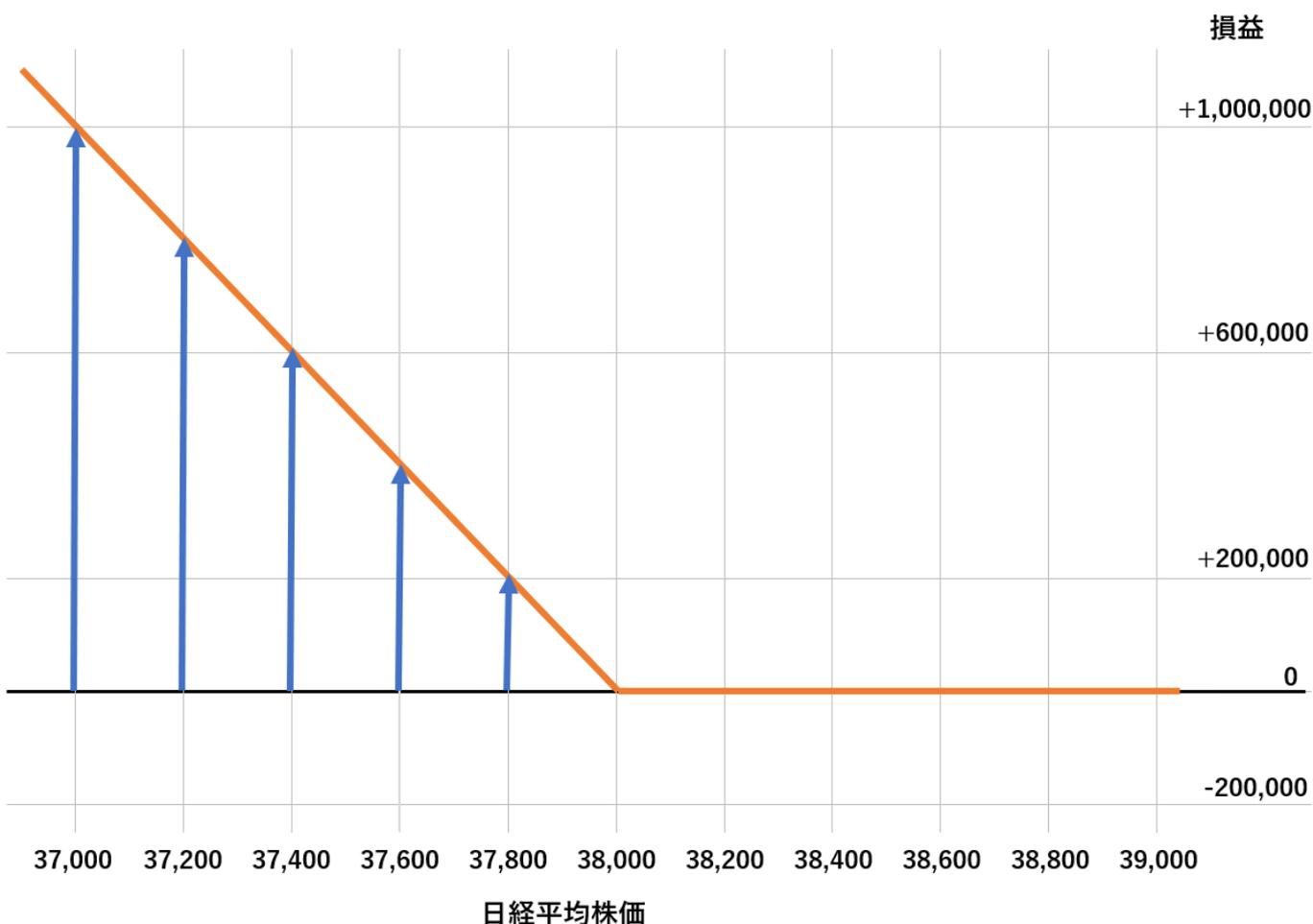
37,000 37,200 37,400 37,600 37,800 38,000 38,200 38,400 38,600 38,800 39,000

日経平均株価



■ プット・オプションの権利行使・放棄による損益

次に、プット・オプションの権利行使・放棄による損益は次のようになります。



プット・オプションとは、「SQ日に日経平均株価を権利行使価格で売る権利」のことです。

つまり、権利行使価格が 38,000 円のプット・オプションを購入した場合、SQ 日に SQ 値で日経平均を買い、それを 38000 円で売る権利を持っていることになるのです。（差額が利益（暴落保険の保険金）になる）

たとえば、SQ 値が 37800 だった場合、SQ に日経平均を 37800 で買い、38000 円で売るわけですので、 $38000 - 37800 = 200 \times 1000$ 倍 = +20 万円の利益が出ることとなります。

SQ 値が 37400 だったとしたら、日経平均を 37400 円で買い、38000 円で売ることになるので、 $38000 - 37400 = 600 \times 1000$ 倍 = 60 万円の利益が出るということです。

このように、SQ 値が権利行使価格を下回れば下回るほど、利益は大きくなります。

そのため、プット・オプションの買い手（暴落保険の加入者）は、SQ 値が権利行使価格を下回った時、必ず権利行使（保険金請求）して保険金（利益）を受け取るのです。

では逆に、SQ 値が権利行使価格以上だった場合はどうなるのでしょうか？

たとえば、権利行使価格が 38000 のプット・オプションを購入し、SQ 値が 38500 だった場合、SQ 値の 38500 で日経平均を買い、権利行使価格の 38000 円で売ることになります。

つまり、 $(38000-38500) \times 1000$ 倍=▲50 万円の損失が出てしまうのです。

しかし、ここで大切なのは、プット・オプションの買い手は「権利を持っている」だけであって、不利な取引になりそうなら、権利を行使し

ない（放棄する）という選択ができるということです。

つまり、損失が発生するとわかった場合は、取引自体をキャンセル（＝権利放棄）できるため、実際の損益は「0円」で済みます。

損をするくらいなら、何もしないほうがマシということです。

このようにして、SQ値が38000円以上だった場合は、損益が0となります。

ここまでの内容を踏まえて、

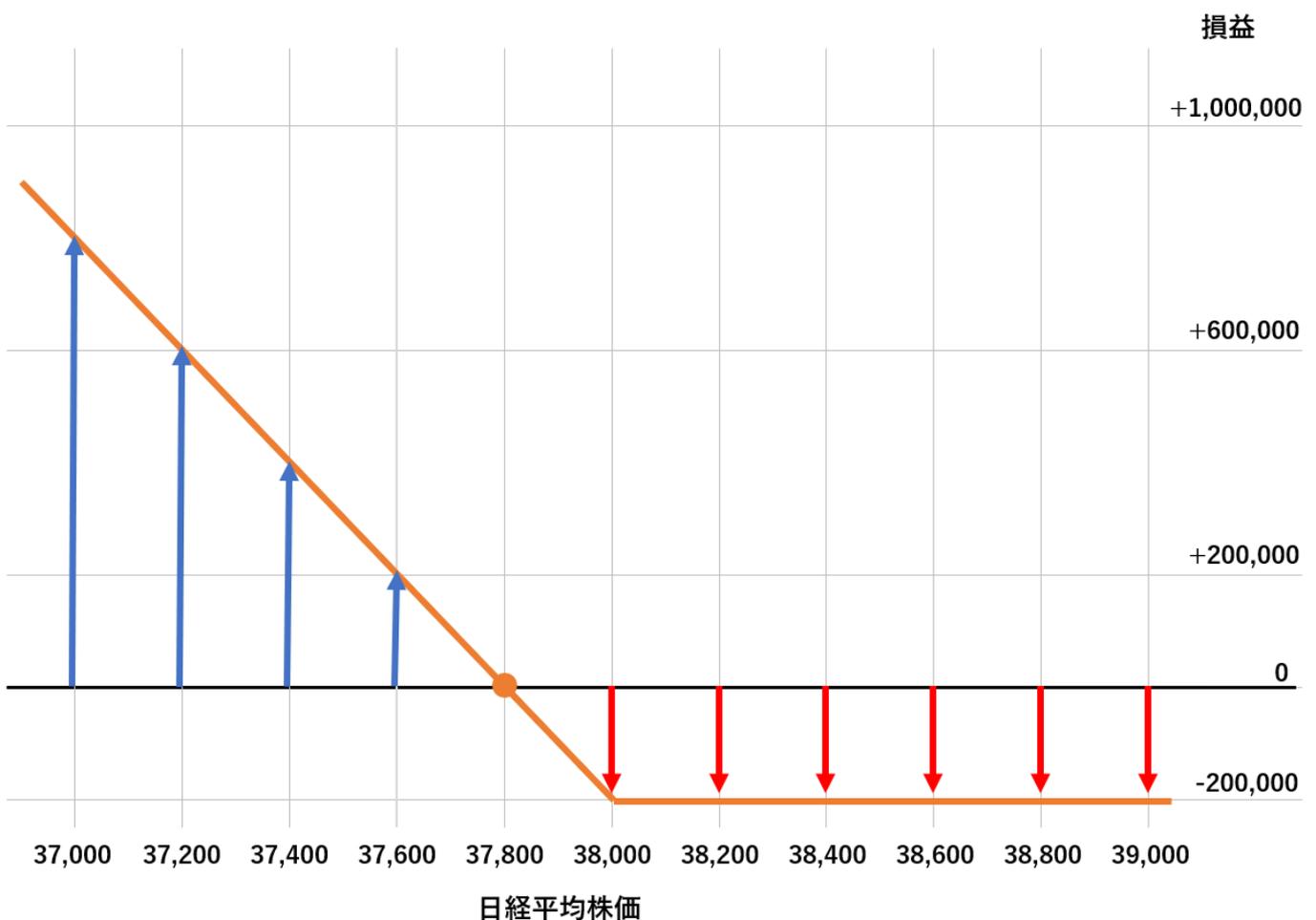
- (1) プット・オプションの購入費用（＝マイナス要因）と、
- (2) 権利行使または放棄による損益（＝プラス要

因またはゼロ)

を合算した「最終損益」を次に見ていきましょう。

■SQ日にプット買いを自動清算した場合の最終損益

縦軸にSQ時点での損益、横軸に日経平均株価（SQ値）を取ると、損益は次のようなグラフになります。



まず、注目すべき点はSQ値が権利行使価格38,000円よりも高かった場合です。

この場合、プット・オプションの買い手は権利行使によって損失が出てしまうため、権利を放棄します。

そのため、支払ったオプションの購入費用（=保険料）（20万円）がそのまま損失となります。

続いて、SQ 値が 37,800～38,000 円の範囲だった場合を見てみましょう。

この価格帯では、SQ 値が権利行使価格をわずかに下回っているため、プット・オプションの買い手は「一応利益が出る」状態になっています。

ただし、ここで重要なのは、すでに 20 万円の購入費用を支払っているという事実です。

つまり、たとえオプションの権利行使によって利益が出たとしても、その利益が20万円未満であれば、トータルではまだマイナスということになります。

このように、オプション購入費用20万円をカバーできるだけの利益が出て、初めて「損益がトントン」になるのです。

この損益分岐点は、今回のケースではSQ値がちょうど37,800円です。

したがって、SQ値が37,800円よりも下回った時、初めて最終的な損益がプラスに転じるというわけです。

SQにおける自動清算は、実際の取引で登場する場面はそれほど多くありません。とはいえ、必

ずどこかで使う機会が出てきますので、この損益構造はしっかり理解しておいてください。

SQ 日にプット買いを自動清算した場合の最終損益をまとめておきます。

POINT

- ・ プット買いの最大損失は、支払ったオプションの購入費用のみ
- ・ SQ 値が権利行使価格を大きく下回るほど、利益は大きくなる
- ・ SQ 値が権利行使価格を上回る場合、買い手は損失を避けるために権利を放棄できる
- ・ 一見、利益が出ていても、購入費用を差し引くと、損失になることがある。

SQにプット売りを自動清算 するときの損益計算方法



この章を読むうえで、必ず押さえておいてほしい重要な前提があります。

それは、プット・オプションの「買い手」と「売り手」は、まさに鏡の関係にあるということです。

つまり、

- 買い手が利益を得れば、売り手は損失を被る
- 買い手が損をすれば、売り手は利益になる

このように、損益が完全に逆転している関係にあります。

プット・オプションの売りは、言葉だけで理解しようとするとう、どうしても複雑に感じるかもしれません。

ですが、こう考えてください。

「プット買いの損益図のちょうど逆になる」

このようにイメージすれば、より早く、より感覚的に理解できるはずです。

SQ までポジションを持ち越し、自動清算となる場合の損益計算に必要な項目は、以下の3つです。

(1) 権利行使価格

(2) SQ 値（最終的な清算価格）

(3) プットの買い手から受け取ったプレミアム（保険料）

そして、最終的な損益を求めるには、次の2つの項目をそれぞれ計算し、合算する必要があります。

(1) プット・オプションの買い手から受け取った
プレミアム（プラス要因）

(2) 売ったプット・オプションの権利行使・放棄
による損益（マイナス要因 or ゼロ）

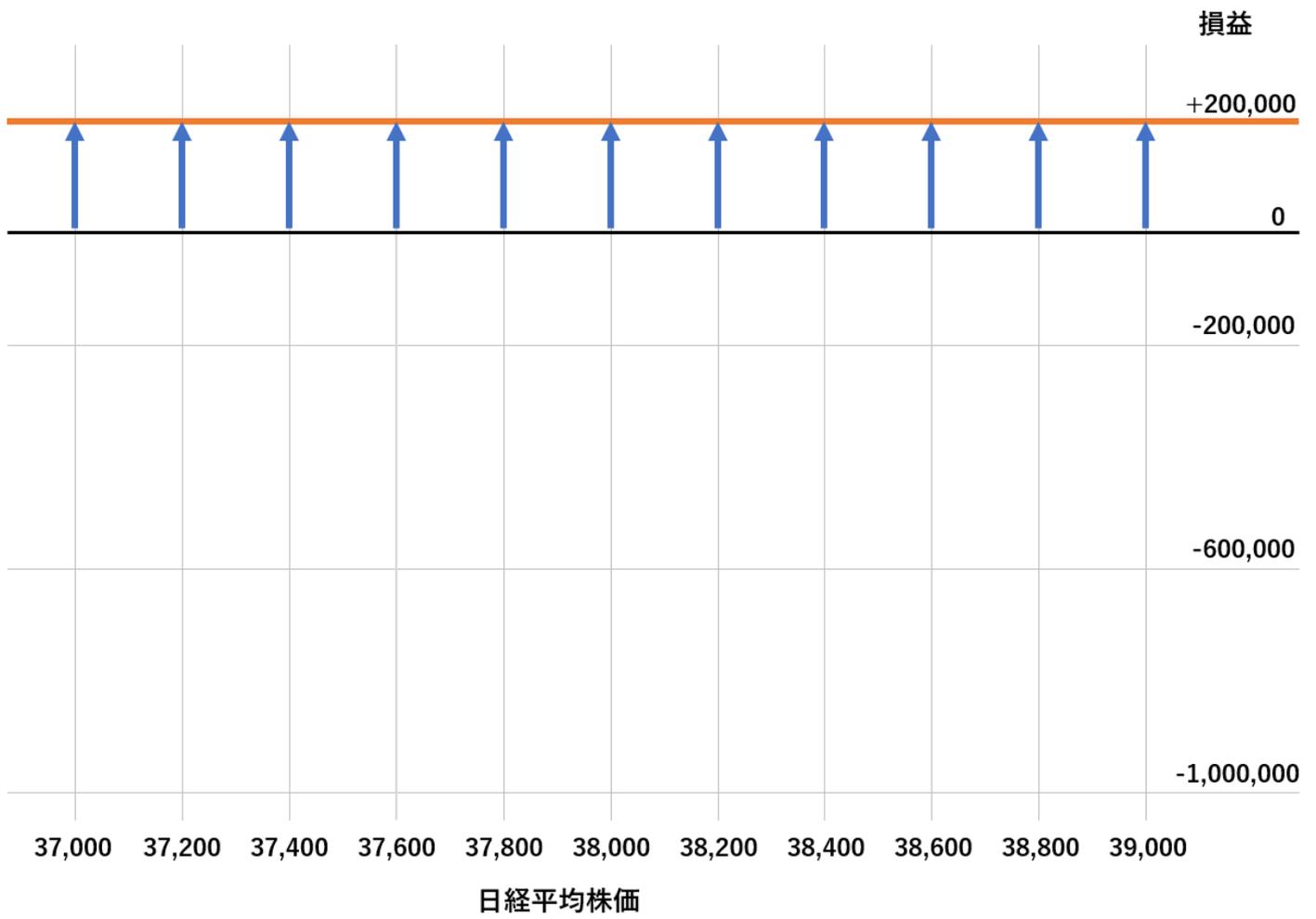
たとえば、権利行使価格 38,000 円、プレミアム
200 円のプット・オプションを売り、そのまま
SQ まで保有したとしましょう。

■プットの買い手から受け取るプレミアム（保険料）

暴落保険を販売する＝プット・オプションを売ることによって、プットの買い手から受け取るプレミアム（例：20万円）は、日経平均がどのように動いても変わらず手元に入る確定収入となります。

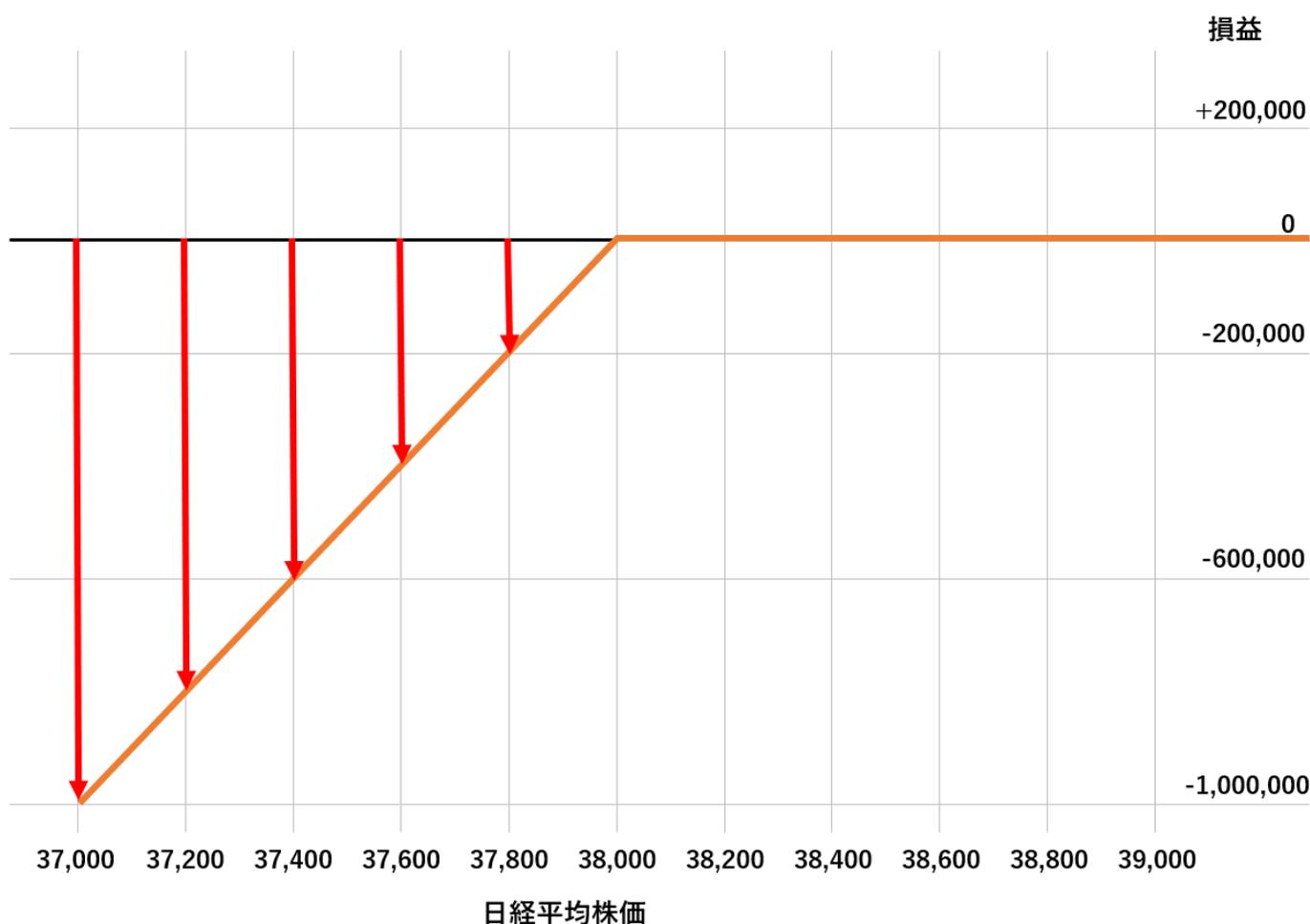
この金額は、取引時点で確定しているため、相場状況に関係なく「必ず受け取れる利益」です。

損益図としては、縦軸にSQ時点での損益、横軸に日経平均株価（SQ値）を取ると、水平な橙色の線で表すことができます。



■ プット売りの SQ での権利行使・放棄の損益

続いて、「プット売りの権利行使・放棄による損益」を見ていきましょう。



損益図を見るときは、まず「プット買いの損益図」を思い出すと、理解が早まります。

プットの買い手は、SQ 値が権利行使価格（例：38,000 円）を下回ったときに利益が出るため、必ず権利を行使します。

一方、プットの売り手は、買い手が権利行使をした場合、それに必ず応じる義務が発生します。

その結果、買い手が得る利益と同額の損失が、売り手に発生するという構造になっています。

では、SQ 値が 38,000 円よりも上だった場合はどうなるのでしょうか？

このケースでは、プットの買い手が権利行使をすると損失になるため、権利を放棄します。

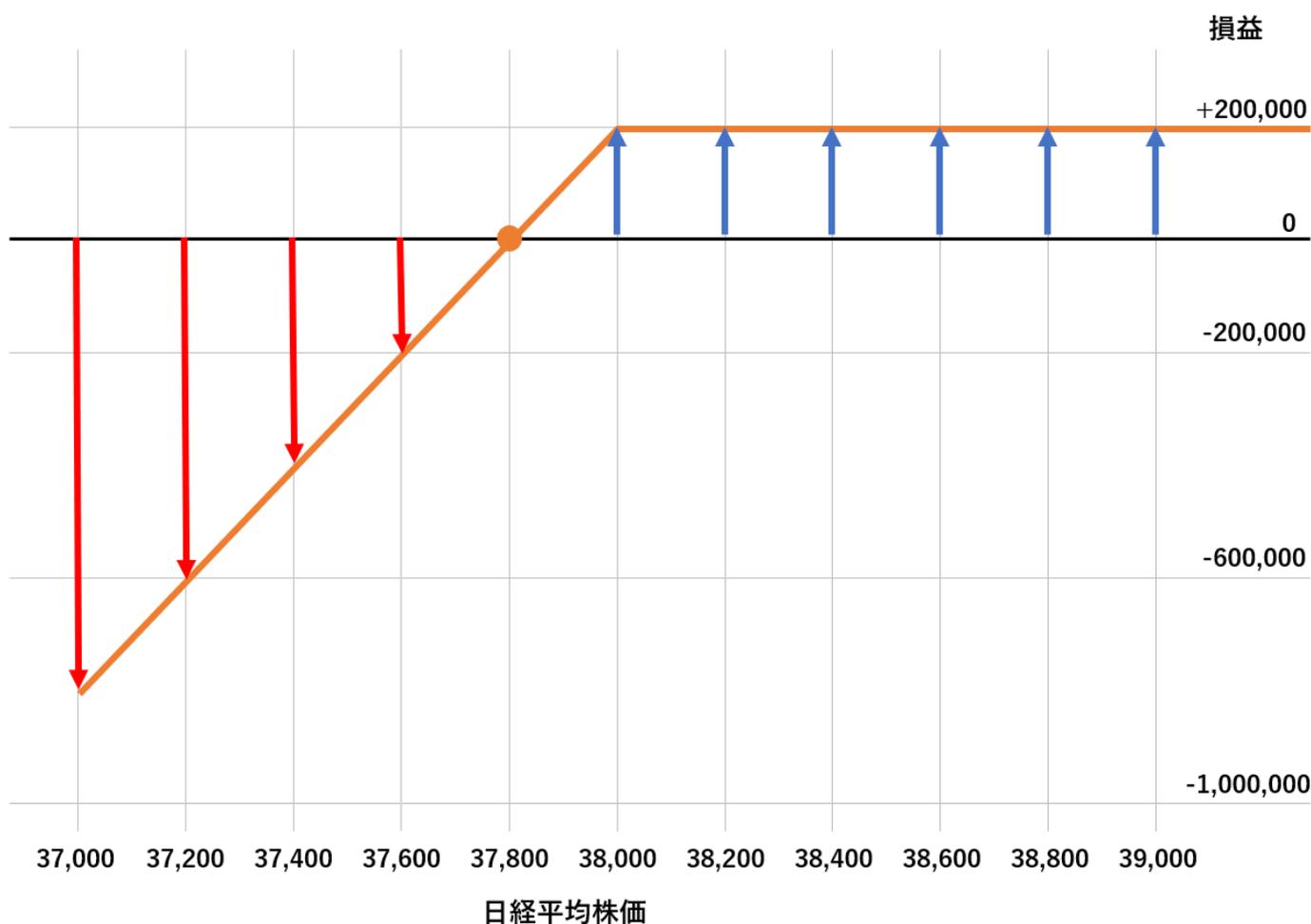
買い手が取引を放棄するという事は、売り手に対しても取引自体が発生しないこととなりますので、売り手側の損益は「0」です。

このように「プットの買い手がこうだから、プットの売り手はこうなる」という形で因果関係をセットで覚えると、オプション取引の損益構造がぐっとわかりやすくなります。

さて、ここからは①プットの買い手から受け取るプレミアム②プット売の権利行使・放棄の損益を合わせたプット売りの最終的な損益を見ていきます。

■ プット売りの SQ における最終損益

縦軸に SQ 時点での損益、横軸に日経平均株価 (SQ 値) を取ると、次のようなグラフになります。



まず注目したいのは、SQ 値が権利行使価格 (38,000 円) よりも高かった場合です。

この場合、プットの買い手は権利行使をしても損をしてしまうため、権利を放棄します。

つまり、取引そのものが行われないため、売り手であるあなたはプレミアム（20万円）をまるまる利益として確定できるということになります。

次に、SQ 値が 37,800～38,000 円の間だった場合を見ていきましょう。

これより下がると、プットの買い手が権利を行使するため、売り手には損失が発生します。

ただし、ここで重要なのは、売り手はあらかじめプレミアム（20万円）を受け取っているという点です

そのため、権利が行使されて一部損失が出たとしても、それが20万円以内であれば、トータルではまだプラスの状態です。

つまり、受け取ったプレミアムを上回る損失が出て、はじめてトータルでの損益がマイナスになるというわけです。

この境目となるのが、SQ値=37,800円であり、これを下回ると損失が確定します。

これで、プット・オプションの損益計算はすべて解説しました。

特に、SQにおける自動清算の損益計算は少し複雑ですので、何度も読み返してしっかり身につけてください。

SQ 日にプット売りを自動清算した場合の損益まとめておきます。

POINT

- ・ プット売りはプットの買い手から最初にプレミアム（保険料）を受け取れる
- ・ SQ で買い手が権利放棄すれば、最初に受け取ったプレミアムがすべて利益になる
- ・ SQ 値が権利行使価格を下回れば下回るほど、損失が大きくなる
- ・ プットの権利行使価格が行使されても、トータルの損益がプラスになることがある。

次章からは、実際にオプションを取引する際に必要となってくる知識について解説していきます。

公式 LINE のご紹介

実際に日経 225 オプションの勉強を始めると、言葉の意味が理解できなかったり、取引の仕方がわからなかったり、色々とつまづくポイントが出てきます。

公式 LINE では、そんなオプション初学者がつまづくポイントを突破するためのコツを定期的に情報発信しています。

また、毎月のトレード実績紹介や、オプションの勉強会、ゼロからオプションを身につけた投資家の声も多数紹介していますので、本書を読んで、日経 225 オプションに興味を持ったという方は、登録をしておいて損はないと思います。

無料で登録できますので、以下のリンクから登録を試してみてください。

<https://lin.ee/1mdAnKr>

口座開設について



オプション取引を始めるには、「先物・オプション口座」を開設する必要があります。（※これは、株や投資信託の取引に使う証券口座とは別の口座になります。）

SBI証券や楽天証券など、主要なネット証券会社であれば、インターネットから簡単に口座開設が可能です。

そこまで各社大差はありませんが、あえておすすめを挙げるとすれば、SBI証券か松井証券です。

とくに松井証券は、オプションのシミュレーションツールが非常に使いやすく、初心者にもやさしい設計になっているため、これから学びながら取引したい方には非常におすすめです。

取引時間はいつ



日経 225 オプションは、平日の日中だけでなく、夜間も取引が可能です。（※土日は取引できませんが、祝日は取引が可能になりました。）

取引時間は以下のとおりです。

- 日中立会：8:45～15:45
- 夜間立会：17:00～翌 6:00

なお、取引時間外でも注文は出せますが、バッチ処理やメンテナンスの影響で、一時的に注文ができない時間帯があるため、その点は証券会社ごとに確認しておくようにしましょう。

また、実際にオプションの取引ができるのは、SQ 前日の 15:45 までです。

SQ 前日の 17:00 以降は、注文を出しても取引は成立しません。

特に注意したいのは、相場が荒れているときです。

SQ 前日の 17:00 以降～SQ 当日の朝にかけて日経平均が大きく変動することもあるため、想定外のリスクにさらされる可能性があります。

ポジションを SQ まで持ち越す予定がない場合は、必ず SQ 前日の 15:45 までに決済を完了させておくようにしてください。

エントリーのタイミング について



初めてオプション取引をする際には、「いつポジションを取ればいいのか？」と悩む方が多いです。

実際には、どのような戦略をとるかによって最適なタイミングは異なりますが、基本的には、SQの翌週の月曜日にポジションを取るのが無難です。

ただし、その週に注目度の高いイベントが予定されている場合（たとえば、トランプ氏が各国への関税率を発表するなど）、イベント通過後にポジションを取るほうが安心です。

とはいえ、1日や2日、ポジションを取るタイミングが前後したところで、大きな差が出ることはほとんどありません。

それよりも、自分が落ち着いて相場を確認し、
冷静に操作できる時間を確保できる日を選ぶこ
とのほうが重要です。

証拠金とは



株や投資信託の取引では出てこない概念として、証拠金があります。

証拠金とは、オプション取引を行う際に、あらかじめ口座に入金しておく必要がある資金のことです。

なぜこのような仕組みがあるかというと、投資家が大きな損失を出して自己資金で賄えなくなった場合、証券会社がその損失を肩代わりしなければならなくなるためです。

もちろん、証券会社としては投資家の損失まで補填することは避けたいので、事前に一定の資金を預けさせることで、損失分を確実に回収できるようにしているのです。

証拠金の状況は、証券会社の取引画面からいつでも確認できます。

「必要証拠金額」は現在ポジションに必要な資金を、「証拠金余力」はまだ使える余剰資金を示しています。

ホーム	日本株	米国株 <small>New!</small>	先物OP	FX <small>New!</small>	投資信託	資産状況	口座管理	情報検索
-----	-----	-------------------------	------	------------------------	------	------	------	------

余力情報 ▶ 戻る ▶ ホームへ戻る 更新 ?

株式・先物OP 余力情報 株式 余力情報 **先物OP 余力情報**

先物OP証拠金余力 **10,112,638円**

使用可能証拠金額		証拠金余力		リアルタイム証拠金状況	
受入証拠金総額	10,112,638円	必要証拠金額	0円	現金残高	10,489,724円
保有有価証券の代用換算額	0円	VaR証拠金額×当社掛目	0円	リアルタイム代用換算額	0円
現金残高	10,489,724円	ネット・オプション価値総額	0円	リアルタイム先物評価損益	0円
預り増加額	17,780円	最低証拠金	0円	リアルタイムネット・オプション価値総額	0円
預り減少額	394,866円	現金必要証拠金額	0円	預り増加額	17,780円
先物評価損益	0円	証拠金余力	10,112,638円	預り減少額	394,866円
使用可能現金	10,112,638円	現金証拠金余力	10,112,638円	ロスカットライン	-円
		追証余裕額	10,112,638円	リアルタイム維持証拠金余力	10,112,638円
		現金追証余裕額	10,112,638円		

たとえば、オプション口座に 100 万円の投資資金がある状態（＝証拠金余力 100 万円）で、11p30000@88 のプット・オプションを 1 枚売ったとします。

このとき、証券会社から必要証拠金として 70 万円が拘束されるため、証拠金余力は 30 万円に減少します。

この状態で、もう1枚同じプットを売ろうとしても、必要証拠金が不足しているため売ることにはできません。

なお、拘束された70万円は証券会社が勝手に運用したり減らしたりすることはなく、売りポジションを決済すれば、再び自由に使える資金として戻ってきます。

ここからは、必要証拠金に関する重要な注意点を3つにまとめてお伝えします。

(1) 必要証拠金は毎日変動する

オプション取引では、毎営業日の終値で「値洗い（再評価）」が行われ、必要証拠金額が変動します。

そのため、日中の15:45までは証拠金に余裕があっても、17:00のナイトセッション開始時点で

必要証拠金が不足するということがあります。

とくに相場が荒れているときは、必要証拠金が突然2倍以上に跳ね上がることもあるため、十分な余裕を持っておくことが大切です。

目安としては、必要証拠金の使用率を投資資金の30%以下に抑えておくことが安全です。

ちなみに、必要証拠金が不足すると強制決済（ロスカット）され、すべてのポジションが自動的に清算されます。

この場合、多くのケースで大きな損失が出るため、必要証拠金の管理は最優先事項です。

(2) 証拠金が必要なのは「売り」のポジションだけ

プット買いの最大損失は購入プレミアム分だけなので、オプションを買う際に証拠金は必要ありません。

一方、「売り」は損失に上限がないため、損失補填のために証券会社は必要証拠金を要求します。

(3) 必要証拠金は事前にシミュレーションできる

「証拠金がいくら必要になるのか不安…」という声をよく聞きますが、そのようなときは、証券会社の「証拠金シミュレーター」を使って事前に試算できます。

これはあくまでも概算値ですが、投資資金に対して必要証拠金が30%以内で収まっていれば、ひとまず安全と考えてよいでしょう。

証拠金を抑えるテクニックもありますが、はじめのうちはこの基本だけをしっかりと押さえておけば問題ありません。

証拠金シミュレーターの 使い方



証券会社によって操作方法は多少異なりますが、ここでは松井証券の「証拠金シミュレーター」の使い方を解説します。

まず、松井証券の取引画面から「証拠金シミュレーター」をクリックします。

The screenshot shows the SBI Securities trading platform interface. At the top, there is a navigation bar with tabs for 'ホーム' (Home), '日本株' (Japanese Stocks), '米国株' (US Stocks), '先物OP' (Futures Trading), 'FX', '投資信託' (Investment Trusts), '資産状況' (Asset Status), '口座管理' (Account Management), and '情報検索' (Information Search). The '先物OP' tab is selected and highlighted in orange.

Below the navigation bar, the interface is divided into several sections:

- 先物OP取引** (Futures Trading): Contains buttons for '先物注文' (Futures Order), 'OP注文' (Order), '先物OP返済(建玉照会)' (Futures OP Repayment (Open Position Inquiry)), and '先物OPスピード注文' (Futures OP Speed Order).
- 照会** (Inquiry): Contains buttons for '先物OP注文照会' (Futures OP Order Inquiry) and '余力情報' (Remaining Capacity Information).
- 分析** (Analysis): Contains buttons for '先物OPチャート' (Futures OP Chart), '損益シミュレーター' (Profit/Loss Simulator), and '証拠金シミュレーター' (Margin Simulator). The '証拠金シミュレーター' button is highlighted with a red border.
- その他** (Others): Contains buttons for '証拠金振替' (Margin Transfer), '証拠金振替履歴' (Margin Transfer History), and 'ルール設定' (Rule Settings).

On the right side of the interface, there is a 'ツール' (Tools) section with a promotional banner for '先物取引対応 外出先でも株touchで取引!' (Futures Trading Support! Trade with Stock Touch even when out!). Below the banner, there is a 'よくあるご質問' (Frequently Asked Questions) section with a list of questions and a '各種サポート' (Various Support) section with buttons for '操作説明を動画で見る' (Watch operation instructions in video), 'AIチャットに質問する' (Ask questions in AI chat), '株の取引相談窓口へ相談' (Consult with the stock trading consultation window), and 'リモートサポートのご案内' (Remote support information).

シミュレーター画面には、現在保有しているポジションに対して必要な証拠金額と、まだ使える余力（証拠金余力）が表示されます。

- 「必要証拠金」：現在のポジションを維持するために証券会社に拘束されている金額
- 「証拠金余力」：今後、新たにポジションを追加できる余裕資金の金額

となります。

新しいポジションを追加してシミュレーションしたい場合は、画面右下の「新規登録」ボタンをクリックしてください。

■証拠金

先物OP証拠金情報	
必要証拠金額	893,521円
受入証拠金額	3,275,674円
現金	3,275,674円
証拠金余力	2,382,153円
現金証拠金余力	2,828,913円

■リスク指標

限月	デルタ	ガンマ [100円当り]	ベガ [千円]	セータ [千円]
202506	-0.11	-0.009	-25.85	22.01
合計	-0.11	-0.009	-25.85	22.01

■保有建玉

銘柄	建区分	建枚数	建単価	返済登録
NK225 06月 P-230	売建	1	9	登録
		2	10	登録
NK225 06月 P-280	売建	4	26	登録
NK225 06月 P-310	買建	2	54	登録
NK225 06月 C-420	買建	1	49	登録
NK225 06月 C-435	売建	3	10	登録

■登録済シミュレーションデータ

 新規登録

銘柄	取引区分	売買	設定枚数	設定単価	建単価	訂正
						削除
登録データはありません。						

追加したいオプションの情報（例：銘柄・売買区分・枚数など）を入力し、画面下部の「登録する」ボタンを押します。

新規建シミュレーションデータ登録

2025年5月17日 17:36 現在

新規建のシミュレーションデータを登録します。

先物 P/C	限月	権利行使価格[円]	取引区分	売買	設定枚数	設定単価
日経225コール	06月	43000	新規	売	1	10
日経225先物	06月		新規	買		
日経225先物	06月		新規	買		
日経225先物	06月		新規	買		
日経225先物	06月		新規	買		
日経225先物	06月		新規	買		
日経225先物	06月		新規	買		
日経225先物	06月		新規	買		
日経225先物	06月		新規	買		
日経225先物	06月		新規	買		

[戻る](#) [登録する](#) [クリア](#)

※こちらの画面から注文はできません。ご注意ください。

Copyright (c) Matsui Securities Co.,Ltd.

登録が完了すると、画面中部の「登録済シミュレーションデータ」エリアに、追加したポジションが表示されます。

■証拠金

先物OP証拠金情報	
必要証拠金額	915,809円
受入証拠金額	3,275,674円
現金	3,275,674円
証拠金余力	2,359,865円
現金証拠金余力	2,817,769円

■リスク指標

限月	デルタ	ガンマ [100円当り]	ベガ [千円]	セータ [千円]
202506	-0.12	-0.010	-27.65	22.71
合計	-0.12	-0.010	-27.65	22.71

■保有建玉

銘柄	建区分	建枚数	建単価	返済登録
NK225 06月 P-230	売建	1	9	登録
		2	10	登録
NK225 06月 P-280	売建	4	26	登録
NK225 06月 P-310	買建	2	54	登録
NK225 06月 C-420	買建	1	49	登録
NK225 06月 C-435	売建	3	10	登録

■登録済シミュレーションデータ

新規登録

銘柄	取引区分	売買	設定枚数	設定単価	建単価	訂正
						削除
NK225 06月 C-430	新規	売	1	10	-	訂正
						削除

最後に、画面右上の「試算基準」を「発注」から「約定」に変更し、「更新」ボタンをクリックしてください。

これで、新しいポジションを追加した場合に必要な証拠金額が試算されます。

追加前が 89 万円くらいでしたので、C43000 を追加してもほぼ証拠金がほとんど増えないことがこのシミュレーターで確認できました。

試算基準： 約定

■証拠金

先物OP証拠金情報	
必要証拠金額	920,809円
受入証拠金額	3,285,674円
現金	3,275,674円
証拠金余力	2,364,865円
現金証拠金余力	2,825,269円

■リスク指標

限月	デルタ	ガンマ [100円当り]	ベガ [千円]	セータ [千円]
202506	-0.12	-0.010	-27.65	22.71
合計	-0.12	-0.010	-27.65	22.71

■保有建玉

銘柄	建区分	建枚数	建単価	返済登録
NK225 06月 P-230	売建	1	9	登録
		2	10	登録
NK225 06月 P-280	売建	4	26	登録
NK225 06月 P-310	買建	2	54	登録
NK225 06月 C-420	買建	1	49	登録
NK225 06月 C-435	売建	3	10	登録

■登録済シミュレーションデータ

銘柄	取引区分	売買	設定枚数	設定単価	建単価	訂正
						削除
NK225 06月 C-430	新規	売	1	10	-	訂正
						削除

登録したシミュレーションデータは早朝データ一括処理終了後、削除されます。

このように、シミュレーターを使えば、取引前に「証拠金が足りるかどうか」を事前にチェックできるため、余裕を持った資金管理が可能になります。

取引に慣れるまでは、毎回このシミュレーターで事前確認するクセをつけておくと安心です。

追証とは



追証（おいしょう）とは、「追加保証金」の略で、証拠金余力が不足した際に、証券口座に追加で資金を預け入れなければならない状態のことを指します。

オプション取引では、日経平均が急落した際などに必要証拠金が急増するため、証拠金ギリギリで取引をしていると、資金が足りなくなると追証が発生することがあります。

追証の通知を放置すると、保有しているポジションが強制的にすべて決済されてしまい、大きな損失につながるケースがほとんどです。

そのため、通知が届いたらすぐに対応することが鉄則です。

追証が発生した場合、取れる対応策は基本的に次の2つです。

(1) 証拠金を追加で入金する

不足している証拠金を、通常は翌営業日までに入金する必要があります。しかし、手元資金がなければすぐに対応できないことも多く、注意が必要です。

(2) 保有ポジションの全部決済する

保有しているポジションの全部を反対売買して決済することで、必要証拠金を減らし、証拠金余力を回復させます。

追証になっているような相場では、日経平均がかなり大きく変動しているため、タイミングよく返済できれば、証券会社のタイミングで強制決済されるよりも損失の額を抑えることができます。

ただ、基本的に追証が発生して良いことは一つもありません。

そのため、常に証拠金には余裕を持たせた取引を行うことが、オプション取引における最も重要なリスク管理となります。

追証を回避するには



追証が最も発生しやすいタイミングは、平日15:45の取引終了後に行われる「値洗い（ねあらい）」の時間帯です。

このとき、相場の変動に応じて必要証拠金が再計算されるため、証拠金に余裕がない状態だと、突然追証が発生することがあります。

「追証になってから考える」では遅く、値洗いが行われる前のタイミングで、あらかじめ追証を回避するための対策をとっておくことが重要です。

追証を回避するために必要証拠金を減らす方法は、主に次の2つです。

(1) 売りポジションの一部を損切りする

必要証拠金に影響するのは、オプションの売りポジションです。

そのため、保有中の売りポジションのうち一部を返済することで、必要証拠金が減少し、証拠金余力を回復させることが可能です。

返済によって損失が発生する場合がありますが、追証による全ポジションの強制決済を避けるための措置としては有効です。

「必要経費」と割り切って、冷静に対処することが大切です。

(2) オプションの買いでヘッジする

売りポジションだけでなく、買いポジションと組み合わせることで、必要証拠金を減らすことができます。

値洗い前に証拠金余力を確認し、証拠金余力が不足しそうな場合は、必要に応じてオプション

を追加で購入することで、証拠金の負担を軽減
できます。

どのくらい証拠金が減るのか不安な場合は、
「証拠金シミュレーター」を使って事前に試算
しておくで安心です。

日経平均が急落した際などには、必要証拠金が
急激に増えるため、「証拠金余力ギリギリ」で
の取引は極めて危険です。

余裕を持った資金管理が、オプション取引で生
き残るための最大のポイントです。

板情報の読み方



板とは、ある価格に対して、どれだけの注文が入っているかを一覧で確認できる「掲示板」のようなものです。（どの証券会社でも、この板情報を確認することができます）

オプションの購入や売却を行う際は、株式の取引と同様に板を見ながら、発注する価格を決定していきます。

この章では、板の見方をわかりやすく解説していきます。

売数量	中心値	買数量
	成行	
1	27	
1	26	
29	25	
18	24	
62	23	
62	22	
81	21	
85	20	
87	19	
14	18	
	17	18
	16	107
	15	82
	14	58
	13	17
	12	12

チャート拡大



「売数量」は、その価格で売り注文が入っているオプションの枚数を表しています。たとえば、19 円のところに 87 枚、18 円には 14 枚の売り注文があるということです。

一方で、「買数量」は、その価格で買い注文が入っている枚数を示しています。たとえば、17

円で 18 枚、16 円で 107 枚の買い注文があるという意味になります。

仮にあなたが 18 円でプット・オプションを 1 枚売る注文を出した場合、18 円の売数量は「14 枚 → 15 枚」に増えます。

ただし、この時点ではあくまでも注文を出しただけで、まだ約定（売買が成立）していません。

あなたの注文が約定するのは、18 円で買いたいという注文が 15 枚以上入ったときです。

では、指値で「17 円」でプット・オプション 1 枚を売る注文を出した場合はどうなるでしょうか？

すでに 17 円で買いたいという注文が 18 枚入っているため、あなたの注文はすぐに約定します。

確かに、1 円価格を下げて売ると、1 枚あたりの利益は 1,000 円減ります。

ですが、私は約定を待つ時間がもったいないと感じることが多いため、すぐに約定する価格で発注することが多いです。

指値と成行注文の違い



指値注文とは、「この価格で売りたい／買いたい」と具体的な価格を指定して注文する方法です。指定した価格に達しなければ、取引は成立しません。

- メリット：自分の希望する価格で売買できる
- デメリット：価格が届かなければ、いつまでも取引が成立しない

たとえば、板が次のようなときに、プット・オプションを 18 円で 1 枚売る指値注文を出したとします。

この場合、18 円でプットを買いたいという注文が 15 枚入ると、あなたの注文は初めて約定（売買成立）します。

売数量	中心値	買数量
	成行	
1	27	
1	26	
29	25	
18	24	
62	23	
62	22	
81	21	
85	20	
87	19	
14	18	
	17	18
	16	107
	15	82
	14	58
	13	17
	12	12

チャート拡大



しかし、18 円で買いたい人が 15 人出てこなければ、あなたの注文は成立しないまま残ります。

その間に、プレミアムがどんどん下がっていく可能性もあるため、注意が必要です。

このように、なかなか約定しそうにないと感じた場合は、指値価格を変更して、必ず約定したことを確認するようにしましょう。

一方、成行注文とは「価格は問わないので、すぐに売買を成立させたい」という注文方法です。

市場に出ている最も有利な価格（最良気配）で、即座に約定します。

- メリット：注文がすぐに成立する
- デメリット：思っていたよりも不利な価格で約定することがある

たとえば、板が次のようなときに、プットを成行で1枚買った場合、最も安く売りに出ている価格（例：18円）で約定します。

売数量	中心値	買数量
	成行	
1	27	
1	26	
29	25	
18	24	
62	23	
62	22	
81	21	
85	20	
87	19	
14	18	
	17	18
	16	107
	15	82
	14	58
	13	17
	12	12

チャート拡大



しかし、次のように板がスカスカのときに、成行で3枚買うとどうなるのでしょうか？

売数量	価格	買数量
1	54	
1	30	
1	18	
	17	1
	16	1
	15	1

このような場合、18 円、30 円、54 円の 3 枚が約定し、購入単価がかなり高くなってしまふことがあります。

特に、夜間の 17:00 以降に始まるナイトセッションでは、板が薄くなりやすいため、成行注文で予想以上に高い価格で買ってしまうリスクが高くなります。

そのため、基本的には指値注文を使うことを強くおすすめします。

発注と約定の違い



「発注」とは、「この価格で売りたい」「買いたい」と、取引所に注文を出すことを指します。

この時点では、まだ取引は成立しておらず、注文内容（銘柄・価格・数量・注文方法など）は自由に変更または取り消しが可能です。

一方で、「約定（やくじょう）」とは、あなたが出した注文が実際に市場で取引として成立したことを意味します。

たとえば、あなたが「プット・オプションを 18 円で買いたい」と発注した場合、18 円でプット・オプションを売りたいという注文が市場に存在し、マッチしたときに初めて取引が成立（＝約定）します。

約定した時点で、「もう取り消せない＝売買が確定した状態」となります。

特に初めてオプションを取引する方に多いのが、「注文を出した＝買えた」と勘違いしてしまうことです。

しかし、発注しただけでは取引は成立していません。

必ず「約定したかどうか」を取引画面で確認し、約定が成立していることを確認してから画面を閉じるようにしてください。

このように、発注と約定の違いを正しく理解することは、トラブルを防ぐうえでも非常に重要です。

オプション取引で2000円 の利益を作る方法



最後に、オプション取引の一連の流れを実際の画面操作つきでご紹介します。

どのように操作すれば、2000 円の利益を作れるのか実際にイメージできるようになると思います。

ただ、ここで紹介する手法はあくまでも取引の流れのイメージを掴んでもらうためのものです。

高い確率で利益が出ますが、毎回必ず利益が出ることを保証するものではありませんので、ご注意ください。

Step1. オプション口座を開設

日経 225 オプションを取引するには、通常の証券口座とは別に「オプション専用口座」の開設が必要です。

ネット証券（例：SBI証券、楽天証券、松井証券など）で、すでに口座をお持ちであれば、WEBから簡単に申込が可能です。

今回は、私が実際に使用している「松井証券」の取引画面を例に、流れを解説していきます。

他の証券会社でも基本的な操作はほとんど同じなので安心してください。

Step2. オプション口座に資金を振り替える

口座開設が完了したら、取引に必要な証拠金（目安：100万円）を入金します。

注意点として、オプション口座には銀行口座から直接入金できません。

まず、証券口座に入金し、そこからオプション口座へ振り替える操作が必要になります。

画面左下の「証拠金振替」をクリックします。

ホーム 日本株 米国株 ^{New!} 先物OP FX ^{New!} 投資信託 資産状況 口座管理 情報検索

先物OP取引

- 先物注文
- OP注文
- 先物OP返済(建玉照会)
- 先物OPスピード注文

照会

- 先物OP注文照会
- 余力情報

分析

- 先物OPチャート
- 損益シミュレーター
- 証拠金シミュレーター

その他

- 証拠金振替**
- 証拠金振替履歴
- ルール設定

ツール

先物取引対応
外出先でも株touchで取引!

よくあるご質問

- ・SQ (エスクュー) について教えてください。
- ・【約諾書未同意エラー：～】と表示され、新規注文ができません。
- ・松井証券口座と先物・オプション取引口座間の証拠金の振替方法を教えてください。

その他の質問はこちら

各種サポート

- 操作説明を動画で見る
- AIチャットに質問する
- 「株の取引相談窓口」へ相談
- リモートサポートのご案内

「現金」の下にある「振替」をクリックします。

証拠金振替

の預り資産の状況は次のとおりです。

更新

■現金

振替	預り区分	振替可能金額
振替	証券口座	3,000,000円
	先物・オプション口座	4,290,020円

■代用有価証券

預り区分	振替申込金額
証券口座	0円
先物・オプション口座	0円

振替	取消	口座区分	銘柄	証券口座[株]	先物・オプション口座[株]	参考価格[円]
				振替申込数[株]	振替申込数[株]	
振替可能な残高はありません。						

- 営業日の15:30~17:00(代用有価証券は15:30~19:00)、および営業日翌日の02:00~06:30は振替できません。なお、夜間データ一括処理終了後から早朝データ一括処理開始までの間は、現金のみ振替が可能です。詳しくは[データ一括処理のご案内](#)をご確認ください。
- 先物・オプション取引口座へ振替えた代用有価証券は、即時に証拠金として利用可能です。なお、営業日の15:30までに振替した場合、証券口座への再振替は19:00以降に手続き可能となります。
- 反映完了までは当該代用有価証券は売却できません。また、振替申込後の取消はできません。
- 先物・オプション取引口座にお預りの代用有価証券は、先物・オプション取引口座で売却できません。証券口座に振替後、ご売却ください。なお、先物・オプション取引口座において証拠金余力が不足する場合、代用有価証券は振替できません。
- 【参考価格[円]】は先物・オプション証拠金の代用評価額を計算する際に用いる前営業日終値の金額を表示します。
- 一日先物取引設定適用中も、先物・オプション口座の振替可能金額は通常時のSPAN証拠金額と当社掛目をもとに計算されます。

「証券口座から先物・オプション口座へ振替」を選択し、内容確認すれば、取引の準備は完了です。

振替申込入力

証券口座		先物・オプション口座	
振替可能金額	3,000,000円	振替可能金額	4,290,020円

証券口座から先物・オプション口座への振替
 先物・オプション口座から証券口座への振替

振替金額 円

内容確認 中止

Step3. 先物 OP タブの「OP 注文」をクリック

メニュー一覧から、「OP 注文」をクリックします。

The screenshot shows the trading platform interface with the following elements:

- Navigation Tabs:** ホーム, 日本株, 米国株 ^{New!}, **先物 OP**, FX ^{New!}, 投資信託, 資産状況, 口座管理, 情報検索
- 先物 OP 取引 (Futures OP Trading):**
 - 先物注文
 - OP 注文** (highlighted with a red box)
 - 先物 OP 返済 (建玉照会)
 - 先物 OP スピード注文
- 照会 (Inquiry):**
 - 先物 OP 注文照会
 - 余力情報
- 分析 (Analysis):**
 - 先物 OP チャート
 - 損益シミュレーター
 - 証拠金シミュレーター
- その他 (Others):**
 - 証拠金振替
 - 証拠金振替履歴
 - ルール設定
- ツール (Tools):**
 - 先物取引対応 外出先でも株touchで取引!
 - よくあるご質問
 - ・SQ (エスキュー) について教えてください。
 - ・【約諾書未同意エラー:~】と表示され、新規注文ができません。
 - ・松井証券口座と先物・オプション取引口座間の証拠金の振替方法を教えてください。
 - その他の質問はこちら
 - 各種サポート
 - 操作説明を動画で見る
 - AIチャットに質問する
 - 「株の取引相談窓口」へ相談
 - リモートサポートのご案内

Step4. 現在値を確認し、プット・オプションを 選定

今回は、保険料（プレミアム）2円=2,000円の利益を狙うために、2円のプット・オプションを探します。

ホーム 日本株 米国株 ^{New!}先物OP FX ^{New!}投資信託 資産状況 口座管理 MATSUI Bank 情報検索

オプション注文 更新 ?

指数名	現在値	前日比 騰落率	始値	高値	安値
日経平均	37,552.16 15:15	+113.55 +0.3%	37,797.06 09:00	37,817.78 09:03	37,397.27 11:03

日経平均 登録

現在値 37,552.16 (15:15)
前日比 +113.55 (+0.3%)

限月: 24年05月 24年06月 24年07月 24年08月 価格 リスク指標

コールオプション						中心値	プットオプション					
注文	出来高	IV	前日比	現在値	行使価格	現在値	前日比	IV	出来高	注文		
新規	15	18.00	+80	270	38,625	-	-	30.44		新規		
新規	359	18.07	+80	310	38,500	1,005	-125	19.78	5	新規		
新規	8	17.49	+75	335	38,375	-	-	30.58		新規		
新規	77	17.97	+85	395	38,250	-	-	24.76		新規		
新規	10	15.87	+35	380	38,125	-	-	29.28		新規		
新規	182	18.30	+130	510	38,000	645	-185	17.98	45	新規		
新規	6	14.54	+20	450	37,875	660	-70	20.56	7	新規		
新規	95	17.77	+90	615	37,750	535	-125	18.56	16	新規		

詳細情報	板	チャート	歩値
始値	37,797.06 (09:00)	高値	37,817.78 (09:03)
安値	37,397.27 (11:03)	前日終値	37,438.61 (04/22)
VWAP	-	Tick回数	-
年初来高値	41,087.75 (24/03/22)	年初来安値	32,693.18 (24/01/04)
上場来高値	41,087.75 (24/03/22)	上場来安値	85.25 (50/07/06)
連結PER	-	配当利回り	-
連結PBR	-	自己資本比率	-
連結ROE	-	一株当たり利益	-
		一株当たり配当	-

画面を下にスクロールすると、2円のプレミアムがついているプット・オプションが複数表示さ

れます。ここでのポイントは「すぐに約定しそうな銘柄」を選ぶことです。

オプション注文

更新 ?

指数名	現在値	前日比騰落率	始値	高値	安値
日経平均	37,552.16 15:15	+113.55 +0.3%	37,797.06 09:00	37,817.78 09:03	37,397.27 11:03

新規 返済

日経225 24年05月限 プット 37125円

現在値 380 (22:38)
前日比 -55 (-12.64%)
出来高 11

限月: 24年05月 24年06月 24年07月 24年08月

価格 リスク指標

コールオプション					中心値	プットオプション				
注文	出来高	IV	前日比	現在値	行使価格	現在値	前日比	IV	出来高	注文
新規		0.00	-	-	29,500	3	0	43.75	6	新規
新規		0.00	-	-	29,250	-	-	45.11		新規
新規		0.00	-	-	29,000	2	-1	44.69	8	新規
新規		0.00	-	-	28,750	2	-1	46.03	26	新規
新規		0.00	-	-	28,500	2	0	47.37	7	新規
新規		0.00	-	-	28,250	2	0	48.72	1	新規
新規		0.00	-	-	28,000	-	-	50.08		新規

詳細情報	板	チャート	歩値	
始値	410 (16:35)	高値	430 (18:57)	
安値	380 (22:38)	清算値	435 (04/23)	
VWAP	396.8181	建玉数量	462	
HV	19.22	IV	22.02	
SQ日	24/05/10	残存日数	16	
日中	始値	475 (10:44)	始値	410 (16:35)
	高値	485 (11:02)	高値	430 (18:57)
	安値	435 (11:19)	安値	380 (22:38)
	終値	435	終値	380

Step5. 板を見て、約定の可能性を確認

行使価格をクリックすると、画面右側に板情報が表示されます。

「2 円の価格に買い注文（買数量）が入っているかどうか」をチェックし、すぐ取引が成立しそうなものを選びます。

今回は、「P29000（行使価格 29,000 円のプット・オプション）」を選びました。

オプション注文

更新 ?

指数名	現在値	前日比騰落率	始値	高値	安値
日経平均	37,552.16 15:15	+113.55 +0.3%	37,797.06 09:00	37,817.78 09:03	37,397.27 11:03

新規 返済

日経225 24年05月限 プット 29000円

現在値 2 (23:26)
前日比 -1 (-33.33%)
出来高 8

限月: 24年05月 24年06月 24年07月 24年08月

価格 リスク指標

コールオプション						中心値	プットオプション					
注文	出来高	IV	前日比	現在値	行使価格	現在値	前日比	IV	出来高	注文		
新規		0.00	-	-	29,500	3	0	43.81	6	新規		
新規		0.00	-	-	29,250	-	-	45.17		新規		
新規		0.00	-	-	29,000	2	-1	44.75	8	新規		
新規		0.00	-	-	28,750	2	-1	46.09	26	新規		
新規		0.00	-	-	28,500	2	0	47.43	7	新規		
新規		0.00	-	-	28,250	2	0	48.78	1	新規		
新規		0.00	-	-	28,000	-	-	50.14		新規		
新規		0.00	-	-	27,750	-	-	48.49		新規		
新規		0.00	-	-	27,500	-	-	52.90		新規		
新規		0.00	-	-	27,250	2	0	54.29	3	新規		
新規		0.00	-	-	27,000	2	+1	55.70	4	新規		

詳細情報 板 チャート 歩値

売数量	中心値	買数量
	成行	
7	12	
1	11	
15	5	
16	4	
22	3	
	2	138
	1	561

Step6. 新規ボタンをクリック

続いて、P29000 の新規ボタンをクリックして、注文画面を開きます。

ホーム
日本株
米国株 New!
先物OP
FX New!
投資信託
資産状況
口座管理
MATSUI Bank
情報検索

オプション注文 更新 ?

指数名	現在値	前日比騰落率	始値	高値	安値
日経平均 <small>円</small>	37,552.16 15:15	+113.55 +0.3%	37,797.06 09:00	37,817.78 09:03	37,397.27 11:03

限月: 24年05月 24年06月 24年07月 24年08月

価格
リスク指標

コールオプション					中心値	プットオプション				
注文	出来高	IV	前日比	現在値	行使価格	現在値	前日比	IV	出来高	注文
新規		0.00	-	-	29,500	3	0	43.81	6	新規
新規		0.00	-	-	29,250	-	-	45.17		新規
新規		0.00	-	-	29,000	2	-1	44.75	8	新規
新規		0.00	-	-	28,750	2	-1	46.09	26	新規
新規		0.00	-	-	28,500	2	0	47.43	7	新規
新規		0.00	-	-	28,250	2	0	48.78	1	新規
新規		0.00	-	-	28,000	-	-	50.14		新規
新規		0.00	-	-	27,750	-	-	48.49		新規
新規		0.00	-	-	27,500	-	-	52.90		新規
新規		0.00	-	-	27,250	2	0	54.29	3	新規
新規		0.00	-	-	27,000	2	+1	55.70	4	新規

新規
返済

日経225 24年05月限 プット 29000円

現在値 2 (23.26)
 前日比 -1 (-33.33%)
 出来高 8

詳細情報
板
チャート
歩値

売数量	中心値	買数量
	成行	
7	12	
1	11	
15	5	
16	4	
22	3	
	2	138
	1	561

Step7. 以下の画面と同じ条件で発注

注文画面が表示されたら、以下のように入力してください。

- 発注区分：通常
- 取引区分：新規売
- 枚数：1枚
- 値段：指値2円
- 執行条件：なし
- 有効期間：取引最終日
- 返済注文の予約：損切り
- 損切り注文（逆指値）：50円以上になったら成行で発注する
- 有効期間：取引最終日

先物OP新規注文

先物OP新規建余力

6,415,690円

▶ 余力情報

更新

?

オプション ▼ 日経225 24年05月限 プット 29000円 ▼

発注区分: 通常 逆指値 追跡指値

取引区分: 新規買 新規売

枚数: + 1 - 枚

値段幅: 1円 ~1,470円 指値 + 2 - 円 成行

執行条件: なし 引け 指成 FAK

有効期間: 当场 最終売買日 期間指定

返済注文の予約: なし 益出し 損切り 益出しと損切り

損切り注文 (逆指値): 元注文の約定単価から + 50 - 円 以上になったら成行で発注する

有効期間: 当场 最終売買日 期間指定

注文確認省略

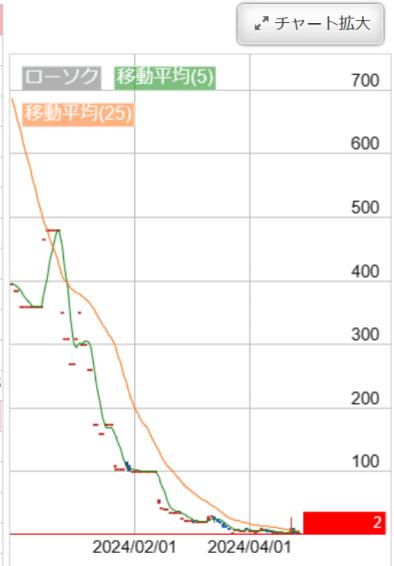
注文する

戻る

現在値	前日比	始値	高値	安値	出来高
23:26	-1 (-33.33%)	17:08	17:08	23:26	8

基本情報 詳細情報 チャート 歩値 価格日付別

売数量	中心値	買数量
	成行	
13	45	
3	40	
2	30	
2	28	
1	17	
7	12	
1	11	
15	5	
16	4	
22	3	
	2	138
	1	561



Step8. 注文ボタンをクリック

「注文」ボタンをクリックして発注完了です。

あとはSQを待つだけです。SQまでに日経平均が29,000円を下回らなければ、あなたの売ったプット・オプションは権利行使されません。

結果として、保険料として受け取った2,000円（＝プレミアム2円×1000倍）がそのまま利益になります。

いかがでしょうか？

実際の取引操作はかなりシンプルです。オプションの仕組みさえ理解していれば、初心者でもスムーズにトレードを始められます。

テキストを読んでいるだけではピンとこないことも、実際に自分で操作してみると一気に理解が深まるものです。

「なんとなくわかったかも」と思えたら、まずは少額から実際の取引にトライしてみてください。

その経験こそが、何よりの学びになります。

さいごに

最後までお読みいただき、ありがとうございます。
ました。

ここまで読み進めていただいたあなたは、きっと「オプションで、毎月、安定した投資収入を得る」という可能性に、少しでも希望を感じていただけたのではないのでしょうか。

本書では、「日本で一番わかりやすい日経 225 オプションの入門書」を目指し、あえて情報をそぎ落とし、最短最速でオプション取引を始められるだけの知識を身につけられるようにしました。

今回、コール・オプションについては触れませんでしたでしたが、プット・オプションが「暴落保険」であれば、コール・オプションは「暴騰保険」になります。

つまり、コール・オプションは日経平均が暴騰したら困るという人が買う保険ということです。

暴落か暴騰かの違いはありますが、それ以外の仕組みはすべて同じですので、本書で解説しているプット・オプションの仕組みが理解であれば、コール・オプションの仕組みもすぐに理解できるようになります。

もし、不安があるという方は、本書の続編として、「知らなかったでは済まされない。日経2225 オプション実力診断テスト」をご用意しています。

この書籍を読めば、あなたがオプション取引を始めるに足る知識が身についているかどうかはすぐにチェックできますので、ぜひそちらも手に取ってみてください。

オプションは、株やFXとは仕組みが根本的に異なるため、最初の学習ステップが最大の壁です。

その壁を正しい順番で乗り越えることができれば、日々の手間をほとんどかけずに、年10%超の運用を目指すことも決して夢ではありません。

この一冊が、あなたにとって「オプションで安定収入を得る」第一歩となれば、これ以上の喜びはありません。

2025年吉日 井上隆

**ここまでお読みいただいた
皆様にお願いとお知らせ**

最後にここまで読んでいただいた皆様にお問い合わせと告知があります。

■お願い

もし本書を読んで「少しでも参考になった」と感じていただけたなら、ぜひカスタマーレビューにてご意見・ご感想をお聞かせいただけないでしょうか？

最後のページをめくると、レビュー入力画面が表示されます。

Amazonでこの本をレビューしてください。①タップ



評価とレビュー

Amazonに評価が投稿されました。 [評価を削除](#)



この本を5つ星で評価しました。

レビューを追加（任意）

レビューのヘッドライン（必須）

レビュー（30文字以上入力してください）

- よい点や悪い点
- この本をお勧めしたい読者
- 気に入った理由または気に入らなかった理由

Amazonに投稿（Kindleのお客様）

②タップ

いいえ、結構です

送信

感想はもちろん、参考になったこと、次はこんなことが知りたい、もっとこうするべきなど、内容は何でも構いません。

レビューは私にとって本当に大きなモチベーションになります。

感想を書くのは面倒くさいという方は、星の数だけ選んで評価していただいても構いません。

■公式 LINE のご紹介

2 つ目は、私が日経 225 オプションについて、情報発信している公式 LINE アカウントの紹介です。

実際にオプションを勉強し始めると、言葉の意味が理解できなかったり、取引の仕方がわからなかったり、色々とつまづくポイントが出てきます。

そんなつまづくポイントを突破するためのコツを定期的に情報発信しています。

また、毎月のトレード実績紹介や、オプションの勉強会、ゼロからオプションを身につけた投資家の声も多数紹介していますので、本書を読

んで、日経 225 オプションに興味を持ったという方は、登録をしておいて損はないと思います。

無料で登録できますので、以下のリンクから登録をしてみてください。

<https://lin.ee/1mdAnKr>